



INDEX

A

AAA ダウン ポリシー、NAC レイヤ 2 IP 検証 [1-11](#)

ABR [41-26](#)

access-class コマンド [38-20](#)

ACE

IP [38-2](#)

QoS と [39-8](#)

イーサネット [38-2](#)

定義済み [38-2](#)

ACL

ACE [38-2](#)

IP

暗黙の拒否 [38-10, 38-15, 38-17](#)

暗黙のマスク [38-10](#)

一致基準 [38-7](#)

作成する [38-7](#)

フラグメントと QoS の注意事項 [39-34](#)

未定義 [38-22](#)

IPv4

一致基準 [38-7](#)

インターフェイスに対して適用する [38-20](#)

数 [38-8](#)

作成する [38-7](#)

端末回線、設定する [38-20](#)

名前付き [38-15](#)

非サポート機能 [38-7](#)

IPv6

一致条件 [45-3](#)

インターフェイスへの適用 [45-7](#)

サポートしない機能 [45-3](#)

サポート対象 [45-2](#)

制限 [45-3](#)

設定 [45-3, 45-4](#)

名前付き [45-3](#)

表示 [45-8](#)

他の機能との相互作用 [45-4](#)

優先 [45-2](#)

MAC 拡張 [38-28, 39-46](#)

QoS [39-8, 39-44](#)

QoS クラス マップごとの数 [39-34](#)

QoS のトラフィックを分類する [39-44](#)

VLAN マップ

設定時の注意事項 [38-32](#)

設定する [38-31](#)

VLAN マップでルータ ACL を使用する [38-38](#)

エントリの並べ替え [38-15](#)

拡張 IP、QoS 分類を設定する [39-45](#)

拡張 IPv4

一致基準 [38-7](#)

作成する [38-10](#)

コメント [38-19](#)

コンパイルする [38-24](#)

サポート [1-9](#)

サポートされない機能、IPv6 [45-3](#)

サポートされるタイプ [38-2](#)

時間範囲 [38-17](#)

照合 [38-7, 38-21, 45-3](#)

すべてのキーワード [38-13](#)

定義済み [38-1, 38-7](#)

適用

IPv6 インターフェイス [45-7](#)

適用する

QoS に対する [39-8](#)

インターフェイスに対する [38-20, 45-7](#)

時間範囲 [38-17](#)

スイッチドパケットでの [38-39](#)
 ブリッジドパケットでの [38-40](#)
 マルチキャストパケットでの [38-41](#)
 ルーテッドパケットでの [38-41](#)

名前 [45-4](#)

名前付き、IPv4 [38-15](#)

名前付き、IPv6 [45-3](#)

ハードウェアでのサポート [38-22](#)

ハードウェアとソフトウェアの処理 [38-22](#)

非サポート機能、IPv4 [38-7](#)

標準 IP、QoS 分類を設定する [39-44](#)

標準 IPv4

一致基準 [38-7](#)

作成する [38-9](#)

ポート [38-2, 45-1](#)

ホスト キーワード [38-13](#)

モニタリング [38-43, 45-8](#)

優先順位 [38-2](#)

ルータ [38-2, 45-1](#)

ルータ ACL と VLAN マップの設定時の注意事項 [38-38](#)

例 [38-24, 39-44](#)

レイヤ 4 情報 [38-39](#)

ロギング メッセージ [38-8](#)

AC (コマンド スイッチ) [6-11](#)

ARP

カプセル化 [41-10](#)

スタティック キャッシュの設定 [41-9](#)

設定 [41-9](#)

定義済み [1-5, 7-24, 41-9](#)

テーブル

アドレス解決 [7-24](#)

管理する [7-24](#)

ASBR [41-26](#)

AS パス フィルタ、BGP [41-55](#)

Auto-MDIX

設定する [14-21](#)

説明 [14-20](#)

Auto Smartports マクロ

表示 [15-5](#)

B

BackboneFast

イネーブルにする [23-14](#)

説明 [23-5](#)

ディセーブルにする [23-15](#)

Berkeley r-tool の置換 [11-57](#)

BGP

CIDR [41-61](#)

clear コマンド [41-64](#)

Multi-VRF CE によるルーティング セッション [41-85](#)

show コマンド [41-64](#)

イネーブル化 [41-48](#)

コミュニティ フィルタリング [41-57](#)

サポート [1-13](#)

集約アドレス [41-61](#)

集約ルート、設定 [41-61](#)

スーパーネット [41-61](#)

セッションのリセット [41-51](#)

説明 [41-44](#)

デフォルト設定 [41-45](#)

ネイバー、タイプ [41-48](#)

ネイバーの設定 [41-59](#)

バージョン 4 [41-45](#)

パス選択 [41-52](#)

ピア、設定 [41-59](#)

プレフィックス フィルタリング [41-56](#)

マルチパス サポート [41-52](#)

モニタリング [41-64](#)

ルーティング ドメイン連合 [41-62](#)

ルート ダンプニング [41-63](#)

ルート マップ [41-54](#)

ルート リフレクタ [41-62](#)

BPDU

errdisable ステート [23-2](#)

RSTP 形式 [22-12](#)

フィルタリング **23-3**

BPDU ガード

イネーブルにする **23-11**

サポート **1-7**

説明 **23-2**

ディセーブルにする **23-12**

BPDU フィルタリング

イネーブルにする **23-12**

サポート **1-7**

説明 **23-3**

ディセーブルにする **23-13**

broadcast storm-control コマンド **29-4**

C

Catalyst 6000 スイッチ

認証の互換性 **12-8**

CA トラストポイント

設定する **11-54**

定義済み **11-52**

CDP

LLDP での定義 **31-1**

アップデート **32-3**

イネーブルとディセーブル

インターフェイス上で **32-4**

スイッチ上で **32-4**

概要 **32-1**

サポート **1-5**

信頼境界と **39-40**

スイッチ クラスタでの自動検出 **6-4**

設定 **32-2**

説明 **32-1**

送信タイマーとホールドタイム、設定する **32-3**

デフォルト設定 **32-2**

モニタリング **32-5**

ルーティング デバイスをディセーブルにする **32-4**

レイヤ 2 プロトコル トンネリング **20-8**

CEF

IPv6 **42-20**

イネーブル化 **41-91**

定義 **41-90**

CE デバイス内の Multi-VRF

「Multi-VRF CE」を参照

CGMP

IGMP スヌーピング ラーニング方式としての **28-9**

概要 **50-9**

キャッシュに格納されたグループ エントリのクリア **50-64**

サーバ サポート機能 **50-9**

サーバ サポートのイネーブル化 **50-46**

スイッチ サポート **1-3**

マルチキャスト グループに加入する **28-3**

CIDR **41-61**

CipherSuite **11-53**

Cisco 7960 IP 電話 **18-1**

Cisco Discovery Protocol

「CDP」を参照

Cisco Group Management Protocol

「CGMP」を参照

Cisco IOS DHCP サーバ

「DHCP、Cisco IOS DHCP サーバ データベース」を参照

Cisco IOS File System

「IFS」を参照

Cisco IOS IP SLA **47-1**

Cisco Secure ACS

ダウンロード可能な ACL の属性と値のペア **12-20**

リダイレクト URL の属性と値のペア **12-20**

Cisco Secure ACS 設定ガイド **12-60**

CiscoWorks 2000 **1-4, 36-4**

CISP **12-30**

CIST リージョナル ルート

「MSTP」を参照

CIST ルート

「MSTP」を参照

CLI

エラー メッセージ **2-5**

クラスタを管理する **6-16**

コマンド出力のフィルタリング **2-10**
 コマンドの no 形式と default 形式 **2-4**
 コマンドの短縮形 **2-4**
 コマンドモード **2-1**
 コンフィギュレーション ロギング **2-5**
 説明 **1-4**
 ヘルプを使用する **2-3**
 編集機能

イネーブルとディセーブル **2-7**
 キーストローク編集 **2-8**
 ラップされた行 **2-9**

履歴

コマンドを呼び出す **2-6**
 説明 **2-6**
 ディセーブルにする **2-7**
 バッファ サイズを変更する **2-6**

Client Information Signalling Protocol

「CISP」を参照

CLNS

「ISO CLNS」を参照

CNS **1-4**

Configuration Engine

イベント サービス **5-3**
 コンフィギュレーション サービス **5-2**
 設定 ID、デバイス ID、ホスト名 **5-3**
 説明 **5-1**

管理機能 **1-4**

組み込みエージェント

イベント エージェントをイネーブルにする **5-7**
 自動設定をイネーブルにする **5-7**
 設定エージェントをイネーブルにする **5-9**
 説明 **5-5**

CoA 要求コマンド **11-25**config.text **4-18**configure terminal コマンド **14-9**config-vlan モード **2-2**

CoS

オーバーライド プライオリティ **18-6**
 信頼のプライオリティ **18-6**

CoS/DSCP マップ、QoS での **39-63**
 CoS 出力キューしきい値マップ、QoS の **39-19**
 CPU 使用率、トラブルシューティング **53-21**
 crashinfo ファイル **53-20**
 Customer Edge デバイス **41-76**

D

DACL

「ダウンロード可能 ACL」を参照

Default Router Preference

「DRP」を参照

default コマンド **2-4**description コマンド **14-21**

DHCP

Cisco IOS サーバ データベース

設定する **26-15**
 説明 **26-7**
 デフォルト設定 **26-9**

IPv6 用 DHCP

「DHCPv6」を参照

イネーブルにする

リレー エージェント **26-11**

DHCP Option 82

回線 ID サブオプション **26-5**
 概要 **26-4**
 設定時の注意事項 **26-10**
 デフォルト設定 **26-9**
 転送アドレス、指定する **26-11**
 パケット形式、サブオプション
 回線 ID **26-5**
 リモート ID **26-5**
 表示する **26-16**
 ヘルパー アドレス **26-11**
 リモート ID サブオプション **26-5**

DHCPv6

DHCPv6 サーバ機能をイネーブルにする **42-17**
 クライアント機能をイネーブルにする **42-19**
 サポート **1-14**

- 設定ガイドライン [42-16](#)
- 説明 [42-6](#)
- デフォルト設定 [42-16](#)
- DHCP オブジェクト トラッキング、プライマリ インターフェイスの設定 [48-11](#)
- DHCP サーバ ポートベースのアドレス割り当て
 - イネーブルにする [26-29](#)
 - サポート [1-5](#)
 - 設定時の注意事項 [26-29](#)
 - 説明 [26-28](#)
 - デフォルト設定 [26-29](#)
 - 表示する [26-31](#)
 - 予約アドレス [26-30](#)
- DHCP スヌーピング
 - Option 82 データ挿入 [26-4](#)
 - 信頼済みインターフェイス [26-3](#)
 - 設定時の注意事項 [26-10](#)
 - デフォルト設定 [26-9](#)
 - バインディング データベース
 - 「DHCP スヌーピング バインディング データベース」を参照
 - バインディング テーブルの表示 [26-16](#)
 - 非信頼インターフェイス [26-3](#)
 - 非信頼パケット形式エッジ スイッチを受信する [26-3, 26-13](#)
 - 非信頼メッセージ [26-2](#)
 - プライベート VLAN の [26-14](#)
 - メッセージ交換プロセス [26-4](#)
- DHCP スヌーピング バインディング データベース
 - イネーブルにする [26-15](#)
 - エージェント統計情報をクリアする [26-16](#)
 - エントリ [26-7](#)
 - 削除する
 - データベース エージェント [26-16](#)
 - バインディング [26-16](#)
 - バインディング ファイル [26-16](#)
 - 設定時の注意事項 [26-10](#)
 - 設定する [26-15](#)
 - 説明 [26-7](#)
 - データベースを更新する [26-16](#)
 - デフォルト設定 [26-9](#)
 - バインディング [26-7](#)
 - バインディング ファイル
 - 形式 [26-8](#)
 - 場所 [26-7](#)
 - バインディングを追加する [26-15](#)
 - 表示
 - ステータスと統計情報 [26-16](#)
 - バインディング エントリ [26-16](#)
 - 表示する [26-16](#)
 - リセットする
 - タイムアウト値 [26-16](#)
 - 遅延値 [26-16](#)
- DHCP スヌーピング バインディング テーブル
 - 「DHCP スヌーピング バインディング データベース」を参照
- DHCP バインディング データベース
 - 「DHCP スヌーピング バインディング データベース」を参照
- DHCP バインディング テーブル
 - 「DHCP スヌーピング バインディング データベース」を参照
- DHCP ベースの自動設定
 - BOOTP との関係 [4-4](#)
 - 概要 [4-4](#)
 - クライアント要求メッセージの交換 [4-4](#)
 - サポート [1-5](#)
 - 設定する
 - DNS [4-8](#)
 - TFTP サーバ [4-8](#)
 - クライアント側 [4-4](#)
 - サーバ側 [4-7](#)
 - リレー デバイス [4-9](#)
 - リース オプション
 - IP アドレス情報 [4-7](#)
 - 設定ファイルを受信する [4-7](#)
 - リレー サポート [1-5, 1-14](#)
 - 例 [4-10](#)
- DHCP ベースの自動設定とイメージ アップデート
 - 概要 [4-5 ~ 4-6](#)

- 設定する [4-12 ~ 4-15](#)
 - distributed-list コマンド [41-103](#)
 - DNS
 - DHCP ベースの自動設定と [4-8](#)
 - IPv6 での [42-4](#)
 - 概要 [7-8](#)
 - サポート [1-5](#)
 - 設定する [7-9](#)
 - 設定を表示する [7-10](#)
 - デフォルト設定 [7-9](#)
 - DNS ベースの SSM マッピング [50-19, 50-21](#)
 - dot1q-tunnel switchport モード [16-16](#)
 - DRP
 - IPv6 [42-4](#)
 - サポート [1-14](#)
 - 設定 [42-14](#)
 - 説明 [42-4](#)
 - DSCP [1-12, 39-2](#)
 - DSCP/CoS マップ、QoS での [39-66](#)
 - DSCP/DSCP 変換マップ、QoS での [39-67](#)
[1-12, 39-2](#)
 - DSCP 出力キューしきい値マップ、QoS の [39-19](#)
 - DSCP 透過性 [39-41](#)
 - DTP [1-8, 16-15](#)
 - DUAL 有限状態マシン、EIGRP [41-36](#)
 - DVMRP
 - DVMRP ルータへの PIM ドメインの接続 [50-53](#)
 - mrinfo 要求、応答 [50-55](#)
 - 概要 [50-9](#)
 - サポート [1-14](#)
 - 自動サマライズ
 - サマリー アドレスの設定 [50-60](#)
 - ディセーブル化 [50-62](#)
 - 相互運用性
 - Cisco IOS ソフトウェアとの [50-9](#)
 - シスコ デバイスとの [50-51](#)
 - 送信元配信ツリー、構築 [50-9](#)
 - トンネル
 - 設定 [50-53](#)
 - ネイバー情報の表示 [50-55](#)
 - ネイバー
 - 情報の表示 [50-55](#)
 - デフォルト ルートのアドバタイズ [50-55](#)
 - 非プルーニングとのピアリングの禁止 [50-58](#)
 - 非プルーニングの拒否 [50-57](#)
 - プローブ メッセージによる検出 [50-51](#)
 - ユニキャスト ルーティングのイネーブル化 [50-56](#)
 - ルーティング テーブル [50-9](#)
 - ルート
 - MBONE に入る個数の制限 [50-59](#)
 - Syslog メッセージのしきい値の変更 [50-59](#)
 - 削除 [50-64](#)
 - すべてのアドバタイズ [50-62](#)
 - ネイバーへのデフォルト ルートのアドバタイズ [50-55](#)
 - 表示 [50-64](#)
 - メトリック オフセットの追加 [50-62](#)
 - 優先度 [50-62](#)
 - ユニキャスト ルート アドバタイズの制限 [50-51](#)
 - レポート メッセージで取得された DVMRP ルートのキャッシュへの格納 [50-56](#)
 - dynamic auto trunking モード [16-16](#)
 - dynamic desirable trunking モード [16-16](#)
 - Dynamic Host Configuration Protocol
 - 「DHCP ベースの自動設定」を参照
 - Dynamic Trunking Protocol (ダイナミック トランキング プロトコル)
 - 「DTP」を参照
-
- ## E
- EBGP [41-43](#)
 - 「EBGP」を参照
 - EIGRP
 - インターフェイス パラメータ、設定 [41-40](#)
 - コンポーネント [41-36](#)
 - スタブ ルーティング [41-42](#)
 - 設定 [41-39](#)

- 定義 [41-35](#)
 - デフォルト設定 [41-37](#)
 - 認証 [41-40](#)
 - モニタリング [41-43](#)
 - ELIN ロケーション [31-3](#)
 - enable secret password [11-4](#)
 - errdisable ステート、BPDU [23-2](#)
 - EtherChannel
 - IEEE 802.3ad、説明 [40-6](#)
 - LACP
 - システム プライオリティ [40-20](#)
 - ステータスを表示する [40-21](#)
 - 説明 [40-6](#)
 - ポート プライオリティ [40-20](#)
 - 他の機能との相互動作 [40-7](#)
 - ホットスタンバイ ポート [40-19](#)
 - モード [40-6](#)
 - PAgP
 - Catalyst 1900 との互換性 [40-18](#)
 - 学習方式とプライオリティの設定 [40-18](#)
 - 仮想スイッチとの相互動作 [40-5](#)
 - サポート [1-3](#)
 - 集約ポート ラーナー [40-18](#)
 - ステータスを表示する [40-21](#)
 - 説明 [40-4](#)
 - デュアルアクションの検出での [40-5](#)
 - 他の機能との相互動作 [40-6](#)
 - モード [40-5](#)
 - サポート [1-3](#)
 - 自動作成 [40-4](#), [40-6](#)
 - ステータスを表示する [40-21](#)
 - 設定時の注意事項 [40-10](#)
 - 設定する
 - レイヤ 2 インターフェイス [40-11](#)
 - レイヤ 3 物理インターフェイス [40-15](#)
 - レイヤ 3 ポートチャンネル論理インターフェイス [40-14](#)
 - 説明 [40-2](#)
 - 相互動作
 - STP での [40-10](#)
 - VLAN での [40-11](#)
 - チャンネル グループ
 - 番号付け [40-3](#)
 - 物理インターフェイスと論理インターフェイスのバインディング [40-3](#)
 - デフォルト設定 [40-10](#)
 - 転送方式 [40-7](#), [40-17](#)
 - ポート グループ [14-6](#)
 - ポートチャンネル インターフェイス
 - 説明 [40-3](#)
 - レイヤ 3 インターフェイス [41-4](#)
 - ロード バランシング [40-7](#), [40-17](#)
 - 論理インターフェイス、説明 [40-3](#)
 - EtherChannel ガード
 - イネーブルにする [23-15](#)
 - 説明 [23-7](#)
 - ディセーブルにする [23-15](#)
 - EUI [42-3](#)
 - Express Setup [1-2](#)
 - 「スタートアップ ガイド」も参照
 - Extensible Authentication Protocol over LAN [12-1](#)
-
- ## F
- fa0 インターフェイス [1-6](#)
 - FCS Bit Error Rate アラーム
 - 設定 [3-10](#)
 - 定義 [3-3](#)
 - FCS エラー ヒステリシスしきい値 [3-2](#)
 - FIB [41-91](#)
 - Flex Link
 - VLAN [25-2](#)
 - VLAN ロード バランシングを設定する [25-11](#)
 - 設定 [25-9](#)
 - 設定時の注意事項 [25-8](#)
 - 説明 [25-1](#)
 - デフォルト設定 [25-8](#)
 - モニタリング [25-15](#)

優先 VLAN の設定 [25-12](#)

リンク ロード バランシング [25-2](#)

Flex Link マルチキャスト高速コンバージェンス [25-3](#)

FTP

イメージ ファイル

アップロードする [A-32](#)

サーバを準備する [A-29](#)

ダウンロードする [A-30](#)

古いイメージを削除する [A-31](#)

設定ファイル

アップロードする [A-15](#)

概要 [A-13](#)

サーバを準備する [A-13](#)

ダウンロードする [A-14](#)

コマンド スイッチの冗長性 [1-7](#)

自動クラスタ回復 [6-13](#)

設定 [46-4](#)

タイマー [46-11](#)

注意事項 [46-6](#)

定義 [46-1](#)

デフォルト設定 [46-5](#)

トラッキング [46-8](#)

認証ストリング [46-11](#)

プライオリティ [46-8](#)

モニタリング [46-13](#)

ルーティングの冗長性 [1-13](#)

「クラスタ」、「クラスタ スタンバイ グループ」、「スタンバイ コマンド スイッチ」も参照

HTTP over SSL

「HTTPS」を参照

HTTPS [11-51](#)

自己署名証明書 [11-52](#)

設定する [11-55](#)

HTTP セキュア サーバ [11-51](#)

G

get-bulk-request オペレーション [36-3](#)

get-next-request オペレーション [36-3, 36-4](#)

get-request オペレーション [36-3, 36-4](#)

get-response オペレーション [36-3](#)

GUI

「デバイス マネージャと Network Assistant」を参照

H

hello タイム

MSTP [22-23](#)

STP [21-21](#)

Hot Standby Router Protocol (ホットスタンバイ ルータ プロトコル)

「HSRP」を参照

HP OpenView [1-4](#)

HSRP

ICMP リダイレクト メッセージのサポート [46-12](#)

オブジェクト トラッキング [48-7](#)

概要 [46-1](#)

クラスタ グループにバインド [46-12](#)

クラスタ スタンバイ グループの考慮事項 [6-12](#)

I

IBGP

「IBGP」を参照

IBPG [41-43](#)

ICMP

IPv6 [42-4](#)

traceroute と [53-13](#)

サポート [1-13](#)

時間超過メッセージ [53-13](#)

到達不能と ACL [38-22](#)

到達不能メッセージ [38-21](#)

到達不能メッセージおよび IPv6 [45-4](#)

リダイレクト メッセージ [41-12](#)

ICMP ping

概要 [53-10](#)

実行する [53-10](#)

ICMP Router Discovery Protocol

- 「IRDP」を参照
- ICMPv6 [42-4](#)
- ICMP エコー動作
 - IP SLA [47-11](#)
 - 設定する [47-12](#)
- IDS 装置
 - 入力 RSPAN と [30-20](#)
 - 入力 SPAN と [30-13](#)
- IEEE 802.1D
 - 「STP」を参照
- IEEE 802.1p [18-1](#)
- IEEE 802.1Q
 - カプセル化 [16-15](#)
 - 設定の制限 [16-17](#)
 - その他の機能を含むトンネル ポート [20-6](#)
 - タグなしトラフィック用ネイティブ VLAN [16-22](#)
 - トランク ポートと [14-3](#)
 - トンネリング
 - 説明 [20-1](#)
 - デフォルト [20-4](#)
 - 他の機能との互換性 [20-6](#)
- IEEE 802.1s
 - 「MSTP」を参照
- IEEE 802.1w
 - 「RSTP」を参照
- IEEE 802.1x
 - 「ポートベース認証」を参照
- IEEE 802.3ad
 - 「EtherChannel」を参照
- IEEE 802.3x フロー制御 [14-19](#)
- ifIndex 値、SNMP [36-6](#)
- IFS [1-5](#)
- IGMP
 - join メッセージ [28-3](#)
 - 概要 [50-3](#)
 - キャッシュ エントリの削除 [50-64](#)
 - クエリー [28-4](#)
 - グループの表示 [50-64](#)
 - グループへのアクセスの制御 [50-42](#)
- 高速スイッチング [50-46](#)
- サポート [1-3](#)
- サポートされるバージョン [28-3](#)
- スイッチの設定
 - グループのメンバーとして [50-41](#)
 - 静的に接続されたメンバー [50-45](#)
- 設定可能な脱退タイマー
 - イネーブルにする [28-11](#)
 - 説明 [28-6](#)
- 脱退処理、イネーブルにする [28-11, 44-9](#)
- デフォルト設定 [50-41](#)
- バージョン 1
 - 説明 [50-3](#)
 - バージョン 2 への変更 [50-43](#)
- バージョン 2
 - クエリー タイムアウト値 [50-44](#)
 - グループのプルーニング [50-45](#)
 - 最大クエリー応答時間値 [50-45](#)
 - 説明 [50-4](#)
 - バージョン 1 への変更 [50-43](#)
- フラッディングしたマルチキャスト トラフィック
 - インターフェイス上でディセーブルにする [28-14](#)
 - クエリー送信要求 [28-13](#)
 - グローバルな脱退 [28-13](#)
 - 時間の長さを制御する [28-12](#)
 - フラッディング モードから回復する [28-13](#)
- ホストクエリー インターバル、変更 [50-43](#)
- マルチキャスト グループから脱退する [28-5](#)
- マルチキャスト グループに加入する [28-3](#)
- マルチキャストの到達可能性 [50-41](#)
- レポート抑制
 - 説明 [28-6](#)
 - ディセーブルにする [28-16, 44-11](#)
- IGMP グループ
 - 最大番号を設定する [28-28](#)
 - フィルタリングを設定する [28-29](#)
- IGMP スヌーピング
 - VLAN の設定 [28-8](#)

- アドレス エイリアス設定 [28-2](#)
- イネーブルとディセーブル [28-7, 44-6](#)
- クエリア
 - 設定時の注意事項 [28-14](#)
 - 設定する [28-14](#)
- グローバル設定 [28-8](#)
- サポート [1-3](#)
- サポートされるバージョン [28-3](#)
- 設定 [28-7](#)
- 即時脱退 [28-5](#)
- 定義 [28-2](#)
- デフォルト設定 [28-7, 44-5, 44-6](#)
- 方式 [28-8](#)
- モニタリング [28-16, 44-12](#)
- IGMP スロットリング
 - アクションを表示する [28-30](#)
 - 設定する [28-29](#)
 - 説明 [28-25](#)
 - デフォルト設定 [28-26](#)
- IGMP 即時脱退
 - イネーブルにする [28-11](#)
 - 設定時の注意事項 [28-11](#)
 - 説明 [28-5](#)
- IGMP フィルタリング
 - サポート [1-3](#)
 - 設定する [28-26](#)
 - 説明 [28-25](#)
 - デフォルト設定 [28-26](#)
 - モニタリング [28-30](#)
- IGMP プロファイル
 - コンフィギュレーション モード [28-26](#)
 - 設定する [28-26](#)
 - 適用する [28-27](#)
- IGMP ヘルパー [1-3, 50-6](#)
- IGP [41-26](#)
- interfaces range macro コマンド [14-12](#)
- Interior Gateway Protocol
 - 「IGP」を参照
- Internet Group Management Protocol (インターネット グループ管理プロトコル)
 - 「IGMP」を参照
- IP ACL
 - QoS 分類の [39-8](#)
 - 暗黙の拒否 [38-10, 38-15](#)
 - 暗黙のマスク [38-10](#)
 - 名前付き [38-15](#)
 - 未定義 [38-22](#)
- ip cef distributed コマンド [41-91](#)
- ip igmp profile コマンド [28-26](#)
- IP precedence [39-2](#)
- IP precedence/DSCP マップ、QoS での [39-64](#)
- IP SLA
 - ICMP エコー動作 [47-11](#)
 - SNMP サポート [47-2](#)
 - UDP ジッタ動作 [47-9](#)
 - 応答側
 - イネーブルにする [47-8](#)
 - 説明 [47-4](#)
 - 応答時間 [47-4](#)
 - オブジェクト トラッキング [48-9](#)
 - オブジェクト トラッキングの設定 [48-9](#)
 - オブジェクト モニタリング エージェントの追跡、設定 [48-11](#)
 - サポートされるメトリック [47-2](#)
 - しきい値のモニタリング [47-6](#)
 - スケジューリング [47-5](#)
 - 制御プロトコル [47-4](#)
 - 設定時の注意事項 [47-6](#)
 - 定義 [47-1](#)
 - デフォルト設定 [47-6](#)
 - 動作 [47-3](#)
 - 到達可能性トラッキング [48-9](#)
 - トラック ステート [48-9](#)
 - ネットワーク パフォーマンスを測定する [47-3](#)
 - マルチオペレーションのスケジューリング [47-5](#)
 - モニタリング [47-13](#)
 - 利点 [47-2](#)

IP traceroute

概要 53-13

実行する 53-14

IPv4 ACL

インターフェイスに対して適用する 38-20

拡張、作成する 38-10

名前付き 38-15

標準、作成する 38-9

IPv4 と IPv6

デュアル プロトコル スタック 42-5

IPv6

ACL

precedence 45-2

一致条件 45-3

サポート対象 45-2

制限 45-3

表示 45-8

ポート 45-1

ルータ 45-1

CEFv6 42-20

Default Router Preference (DRP) 42-4

Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP) IPv6 42-8

EIGRP IPv6 コマンド 42-8

ルータ ID 42-8

ICMP 42-4

OSPF 42-7

SDM テンプレート 10-2, 44-1, 45-1

アドレス 42-2

アドレス フォーマット 42-2

アドレスを割り当てる 42-11

アプリケーション 42-5

機能の制限 42-10

サポート機能 42-2

自動設定 42-5

スイッチの制限 42-10

スタティック ルートの概要 42-7

スタティック ルートを設定する 42-21

ステートレス自動設定 42-5

定義済み 42-1

デフォルト設定 42-11

転送する 42-11

ネイバー探索 42-4

パス MTU ディスカバリ 42-4

非サポート機能 42-9

モニタリング 42-28

IPv6 の HSRP

設定 42-26

注意事項 42-25

IP アドレス

128 ビット 42-2

IPv6 42-2

IP ルーティング 41-4

MAC アドレス アソシエーション 41-8

クラス 41-5

クラスタ アクセス 6-2

検出する 7-24

候補またはメンバ 6-3, 6-14

コマンド スイッチ 6-3, 6-12, 6-14

冗長クラスタ 6-12

スタンバイ コマンド スイッチ 6-12, 6-14

デフォルト設定 41-4

モニタリング 41-18

「IP 情報」も参照

IP サービス レベル契約

「IP SLA」を参照

IP サービス レベル、分析する 47-1

IP 情報

デフォルト設定 4-3

割り当て

DHCP ベースの自動設定を介して 4-4

手動で 4-16

IP 送信元ガード

イネーブル化 26-20, 26-21

ディセーブル化 26-20

IP ソース ガード

802.1x と 26-19

DHCP スヌーピングと 26-17

- EtherChannels と [26-19](#)
- TCAM エントリと [26-20](#)
- VRF と [26-19](#)
- スタティック バインディング
 - 削除する [26-20](#)
 - 追加する [26-20](#), [26-21](#)
- スタティック ホスト [26-21](#)
- 設定時の注意事項 [26-19](#)
- 説明 [26-17](#)
- 送信元 IP アドレスと MAC アドレスのフィルタリング [26-17](#)
- 送信元 IP アドレスのフィルタリング [26-17](#)
- デフォルト設定 [26-19](#)
- トランク インターフェイスと [26-19](#)
- バインディング設定
 - 自動的な [26-17](#)
 - 手動での [26-17](#)
- バインディング テーブル [26-17](#)
- 表示する
 - アクティブ IP バインディングまたは MAC バインディング [26-28](#)
 - 設定 [26-28](#)
 - バインディング [26-28](#)
- フィルタリング
 - 送信元 IP アドレス [26-17](#)
 - 送信元 IP アドレスと MAC アドレス [26-17](#)
- プライベート VLAN の [26-19](#)
- ポート セキュリティと [26-19](#)
- ルーテッド ポートと [26-19](#)
- IP ダイレクト ブロードキャスト [41-14](#)
- IP 電話
 - QoS でポート セキュリティを確立する [39-39](#)
 - QoS と [18-1](#)
 - QoS の信頼境界 [39-39](#)
 - 自動分類とキューイング [39-21](#)
 - 設定する [18-4](#)
- IP ブロードキャスト アドレス [41-16](#)
- IP プロトコル
 - ACL での [38-12](#)
 - ルーティング [1-13](#)
- IP ポート セキュリティ、スタティック ホスト用
 - PVLAN ホスト ポートでの [26-25](#)
 - レイヤ 2 アクセス ポート [26-21](#)
- IP マルチキャスト ルーティング
 - IGMP スヌーピングと [28-2](#)
 - MBONE
 - sdr キャッシュ エントリの削除 [50-64](#)
 - sdr キャッシュ エントリの存在期間の制限 [50-48](#)
 - sdr キャッシュの表示 [50-65](#)
 - sdr リスナー サポート機能のイネーブル化 [50-48](#)
 - Session Directory (sdr) ツール、説明 [50-47](#)
 - アドバタイズされる DVMRP ルートの制限 [50-59](#)
 - 会議セッション アナウンスメント用の SAP パケット [50-48](#)
 - 説明 [50-47](#)
 - PIMv1 および PIMv2 の相互運用性 [50-11](#)
 - RP
 - PIMv2 BSR の設定 [50-31](#)
 - 自動 RP および BSR の使用 [50-35](#)
 - 自動 RP の設定 [50-27](#)
 - 手動での割り当て [50-25](#)
 - マッピング情報のモニタリング [50-36](#)
 - アドレス
 - すべてのマルチキャスト ルータ [50-3](#)
 - 全ホスト [50-3](#)
 - ホスト グループ アドレス範囲 [50-3](#)
 - イネーブル化
 - PIM モード [50-13](#)
 - マルチキャスト転送 [50-13](#)
 - 管理用スコープの境界、説明 [50-49](#)
 - 逆経路チェック (RPF) [50-8](#)
 - グループ /RP マッピング
 - BSR [50-7](#)
 - 自動 RP [50-7](#)
 - シスコの実装 [50-1](#)
 - 自動 RP

- BSR による使用 [50-35](#)
- 概要 [50-7](#)
- 既存の SM クラウドへの追加 [50-27](#)
- キャッシュのクリア [50-64](#)
- 候補 RP スプーフィングの禁止 [50-30](#)
- 新規インターネットワークでの設定 [50-27](#)
- 設定時の注意事項 [50-12](#)
- 着信 RP アナウンスメント メッセージのフィルタリング [50-30](#)
- 問題のある RP への Join メッセージの送信禁止 [50-29](#)
- 利点 [50-27](#)
- 設定
 - IP マルチキャスト境界 [50-49](#)
 - 基本的なマルチキャスト ルーティング [50-12](#)
- デフォルト設定 [50-10](#)
- 統計情報、システムおよびネットワークの表示 [50-64](#)
- ブートストラップ ルータ
 - IP マルチキャスト境界の定義 [50-32](#)
 - PIM ドメイン境界の定義 [50-31](#)
- 概要 [50-7](#)
- 候補 BSR の設定 [50-33](#)
- 候補 RP の設定 [50-34](#)
- 自動 RP による使用 [50-35](#)
- 設定時の注意事項 [50-12](#)
- プロトコルの動作 [50-2](#)
- マルチキャスト転送、説明 [50-8](#)
- モニタリング
 - パケット速度および損失情報 [50-65](#)
 - パスのトレース [50-65](#)
 - ピアリング デバイス [50-65](#)
- ルーティング テーブル
 - 削除 [50-64](#)
 - 表示 [50-64](#)
- 「CGMP」も参照
- 「DVMRP」も参照
- 「IGMP」も参照
- 「PIM」も参照
- IP ユニキャスト ルーティング
 - ARP [41-9](#)
 - EtherChannel レイヤ 3 インターフェイス [41-4](#)
 - IGP [41-26](#)
 - IP アドレス指定
 - クラス [41-5](#)
 - 設定 [41-4](#)
 - IRDP [41-12](#)
 - MAC アドレスおよび IP アドレス [41-8](#)
 - SVI を使用 [41-3](#)
 - UDP [41-16](#)
 - VLAN 間 [41-2](#)
 - アドミニストレーティブ ディスタンス [41-93, 41-104](#)
 - アドレス解決 [41-8](#)
 - イネーブル化 [41-19](#)
 - 逆アドレス解決 [41-8](#)
 - クラスレス ルーティング [41-7](#)
 - 再配信 [41-95](#)
 - サブネット ゼロ [41-6](#)
 - サブネット マスク [41-6](#)
 - 受動インターフェイス [41-103](#)
 - スーパーネット [41-7](#)
 - スタティック ルーティング [41-3](#)
 - スタティック ルートの設定 [41-92](#)
 - 設定する手順 [41-4](#)
 - ダイナミック ルーティング [41-3](#)
 - ダイレクトブロードキャスト [41-14](#)
 - ディセーブル化 [41-19](#)
 - デフォルト
 - アドレス指定の設定 [41-4](#)
 - ゲートウェイ [41-12](#)
 - ネットワーク [41-94](#)
 - ルーティング [41-3](#)
 - ルート [41-94](#)
 - 認証キー [41-105](#)
 - ブロードキャスト
 - アドレス [41-16](#)
 - ストーム [41-14](#)
 - パケット [41-14](#)

フラッドイング 41-17

プロキシ ARP 41-9

プロトコル

- ダイナミック 41-3
- ディスタンスベクトル 41-3
- リンクステート 41-3

ルーテッドポート 41-3

レイヤ3 インターフェイス 41-3

レイヤ3 インターフェイスへの IP アドレスの割り当て 41-6

「BGP」も参照

「EIGRP」も参照

「OSPF」も参照

「RIP」も参照

IP ルーティング

- イネーブル化 41-19
- インターフェイスを接続する 14-8
- ディセーブル化 41-19

IP ルート、モニタリング 41-106

IRDP

- サポート 1-13
- 設定 41-13
- 定義 41-12

IS-IS

- show コマンド 41-75
- アドレス 41-66
- エリア ルーティング 41-65
- システム ルーティング 41-65
- デフォルト設定 41-67
- モニタリング 41-75

ISO CLNS

- clear コマンド 41-75
- NET 41-65
- NSAP 41-65
- OSI 標準 41-65
- ダイナミック ルーティング プロトコル 41-65
- モニタリング 41-75

ISO IGRP

- エリア ルーティング 41-65

システム ルーティング 41-65

J

join メッセージ、IGMP 28-3

K

KDC

説明 11-42

「Kerberos」も参照

Kerberos

KDC 11-42

TGT 11-44

暗号化ソフトウェア イメージ 11-41

クレデンシャル 11-42

サーバ 11-43

サポート 1-11

信頼済みサードパーティとしてのスイッチ 11-42

設定する 11-45

設定例 11-42

説明 11-42

操作 11-44

チケット 11-42

認証する

- KDC 11-44

- 境界スイッチ 11-44

- ネットワーク サービス 11-45

用語 11-43

レルム 11-43

L

l2protocol-tunnel コマンド 20-13

LACP

「EtherChannel」を参照

レイヤ2 プロトコル トンネリング 20-9

LDAP 5-2

LED、スイッチ

「ハードウェア インストレーション ガイド」を参照

Lightweight Directory Access Protocol

「LDAP」を参照

Link Aggregation Control Protocol

「EtherChannel」を参照

Link Fault アラーム 3-3

Link Layer Discovery Protocol

「CDP」を参照

Link State Advertisement (LSA) 41-31

LLDP

イネーブルにする 31-5

概要 31-1

サポートされる TLV 31-1

スイッチ スタックの考慮事項 31-2

設定

デフォルト設定 31-4

設定する 31-4

特性 31-6

送信タイマーとホールドタイム、設定する 31-6

モニタリングとメンテナンス 31-10

LLDP-MED

概要 31-1, 31-2

サポートされる TLV 31-2

設定する

TLV 31-6

手順 31-4

モニタリングとメンテナンス 31-10

LLDP Media Endpoint Discovery

「LLDP-MED」を参照

LRE プロファイル、スイッチ クラスタでの考慮事項 6-16

M

MAB

「MAC 認証バイパス」を参照

MAB エージング タイム 1-9

MAB 非アクティビティ タイマー

デフォルト設定 12-33

範囲 12-36

MAC/PHY コンフィギュレーション ステータス TLV 31-2

MAC アドレス

ACL での 38-28

IP アドレス アソシエーション 41-8

IP ソース バインディング テーブルで表示する 26-28

VLAN でのラーニングをディセーブルにする 7-23

VLAN との対応付け 7-13

アドレス テーブルを構築する 7-13

エージング タイム 7-14

検出する 7-24

スタティック

許可する 7-22, 7-24

削除する 7-21

追加する 7-21

特性 7-20

ドロップする 7-22

ダイナミック

削除する 7-15

ラーニング 7-13

デフォルト設定 7-14

表示する 7-24

MAC アドレス /VLAN マッピング 16-26

MAC アドレス通知、サポート 1-14

MAC アドレス テーブル移動更新

設定時の注意事項 25-8

設定する 25-12

説明 25-6

デフォルト設定 25-8

モニタリング 25-15

MAC アドレス ラーニング 1-5

MAC アドレス ラーニング、VLAN でディセーブルにする 7-23

MAC 拡張アクセス リスト

QoS 分類の 39-5

QoS を設定する 39-46

作成する 38-28

- 定義済み **38-28**
- レイヤ 2 インターフェイスに対して適用する **38-30**
- MAC 認証バイパス **12-36**
 - 「MAB」を参照
 - 概要 **12-16**
 - 設定する **12-56**
- maximum-paths コマンド **41-52, 41-92**
- MDA
 - 設定時の注意事項 **12-12 ~ 12-13**
 - 説明 **1-10, 12-12**
 - 認証プロセスでの例外 **12-5**
- MHSRP **46-4**
- MIB
 - SNMP の相互作用 **36-4**
- MIBs
 - 概要 **36-1**
- mrouter ポート **25-3, 25-5**
- MSDP
 - MSDP 接続および統計情報のクリア **51-18**
 - SA メッセージ
 - キャッシュ エントリのクリア **51-18**
 - モニタリング **51-18**
 - Source-Active メッセージ
 - TTL によるデータの制限 **51-13**
 - アダプタイズされる送信元の制限 **51-9**
 - キャッシング **51-6**
 - 着信のフィルタリング **51-14**
 - 定義 **51-2**
 - ピアからのフィルタリング **51-10**
 - ピアへのフィルタリング **51-12**
 - 概要 **51-1**
 - 加入遅延、定義 **51-6**
 - サポート **1-14**
 - 送信元情報の制御
 - スイッチから発信 **51-8**
 - スイッチで受信 **51-13**
 - スイッチによる転送 **51-11**
 - デフォルト設定 **51-4**
 - デンス モード領域
 - SA メッセージの送信 **51-16**
 - 発信元アドレスの指定 **51-17**
- 送信元アドレス、変更 **51-17**
- ピア
 - シャットダウン **51-15**
 - 送信元情報の要求 **51-8**
 - デフォルトの設定 **51-4**
 - ピアリング関係、概要 **51-1**
 - モニタリング **51-18**
 - ピア RPF フラッドイング **51-2**
 - フィルタリング
 - 着信 SA メッセージ **51-14**
 - ピアからの SA 要求 **51-10**
 - ピアへの SA メッセージ **51-12**
- メッシュグループ
 - 設定 **51-15**
 - 定義 **51-15**
- 利点 **51-3**
- MSTP
 - BPDU ガード
 - イネーブルにする **23-11**
 - 説明 **23-2**
 - BPDU フィルタリング
 - イネーブルにする **23-12**
 - 説明 **23-3**
 - CIST、説明 **22-3**
 - CIST リージョナルルート **22-3, 22-5**
 - CIST ルート **22-5**
 - CST
 - 定義 **22-3**
 - リージョン間の動作 **22-4**
 - EtherChannel ガード
 - イネーブルにする **23-15**
 - 説明 **23-7**
 - IEEE 802.1D との相互運用性
 - 移行プロセスの再起動 **22-26**
 - 説明 **22-8**
 - IEEE 802.1s
 - 実装 **22-6**

- ポートの役割名の変更 [22-7](#)
- 用語 [22-5](#)
- IST
 - 定義 [22-2](#)
 - マスター [22-3](#)
 - リージョン内の動作 [22-3](#)
- MST リージョン
 - CIST [22-3](#)
 - IST [22-2](#)
 - サポートされるスパニングツリー インスタンス [22-2](#)
 - 設定 [22-16](#)
 - 説明 [22-2](#)
 - ホップ カウント メカニズム [22-5](#)
- Port Fast
 - イネーブルにする [23-10](#)
 - 説明 [23-2](#)
- Port Fast 対応ポートのシャットダウン [23-2](#)
- VLAN と MST インスタンスのマッピング [22-16](#)
- インターフェイスの状態、転送のブロッキング [23-2](#)
- 概要 [22-2](#)
- 拡張システム ID
 - 異常動作 [22-18](#)
 - セカンダリ ルート スイッチへの影響 [22-19](#)
 - ルート スイッチへの影響 [22-18](#)
- 境界ポート
 - 設定時の注意事項 [22-16](#)
 - 説明 [22-6](#)
- サポートされるインスタンス [21-10](#)
- サポートされるオプション機能 [1-7](#)
- ステータスの表示 [22-27](#)
- ステータス、表示 [22-27](#)
- 設定
 - MST リージョン [22-16](#)
 - 高速コンバージェンス用リンク タイプ [22-25](#)
 - 最大エージング タイム [22-24](#)
 - 最大ホップ カウント [22-25](#)
 - スイッチ プライオリティ [22-22](#)
 - セカンダリ ルート スイッチ [22-19](#)
 - 転送遅延時間 [22-24](#)
 - ネイバー タイプ [22-26](#)
 - パス コスト [22-21](#)
 - ポート プライオリティ [22-20](#)
 - ルート スイッチ [22-18](#)
 - 設定時の注意事項 [22-15, 23-10](#)
 - 設定する
 - hello タイム [22-23](#)
 - デフォルト設定 [22-15](#)
 - デフォルトのオプション機能設定 [23-10](#)
 - モード間での相互運用性と互換性 [21-10](#)
 - モードのイネーブル化 [22-16](#)
 - ルート ガード
 - イネーブルにする [23-16](#)
 - 説明 [23-8](#)
 - ルート スイッチ
 - 異常動作 [22-18](#)
 - 拡張システム ID の影響 [22-18](#)
 - 設定 [22-18](#)
 - ルート スイッチ選択を防止する [23-8](#)
 - ループ ガード
 - イネーブルにする [23-16](#)
 - 説明 [23-9](#)
- multiauth
 - アクセス不能認証バイパスのサポート [12-23](#)
- multiauth モード
 - 「複数認証モード」を参照
- Multicast Source Discovery Protocol
 - 「MSDP」を参照
- multicast storm-control コマンド [29-4](#)
- Multiple HSRP
 - 「MHSRP」を参照
- Multiple VPN Routing/Forwarding、カスタマー エッジ デバイスでの
 - 「Multi-VRF CE」を参照
- Multi-VRF CE
 - サポート [1-13](#)
 - 設定 [41-78](#)

設定時の注意事項 [41-79](#)

設定例 [41-86](#)

定義 [41-76](#)

デフォルト設定 [41-78](#)

ネットワーク コンポーネント [41-78](#)

パケット転送処理 [41-78](#)

MVR

IGMPv3 と [28-21](#)

アドレスのエイリアス [28-21](#)

アプリケーション例 [28-18](#)

インターフェイスの設定 [28-23](#)

グローバル パラメータを設定する [28-21](#)

サポート [1-3](#)

設定時の注意事項 [28-21](#)

説明 [28-18](#)

デフォルト設定 [28-20](#)

マルチキャスト TV アプリケーション [28-18](#)

モード [28-22](#)

モニタリング [28-24](#)

Network Assistant

スイッチをアップグレードする [A-23](#)

説明 [1-4](#)

利点 [1-2](#)

no switchport コマンド [14-4](#)

Not-So-Stubby-Area

「NSSA」を参照

no コマンド [2-4](#)

NSAP、ISO IGRP アドレスとして [41-65](#)

NSF 認識

IS-IS [41-68](#)

NSM [5-3](#)

NSSA、OSPF [41-31](#)

NTP

アソシエーション

定義済み [7-2](#)

概要 [7-2](#)

サポート [1-5](#)

時刻

サービス [7-2](#)

同期をとる [7-2](#)

層 [7-2](#)

N

NAC

AAA ダウン ポリシー [1-11](#)

RADIUS サーバを使用した IEEE 802.1x 検証 [12-57](#)

RADIUS サーバを使用した IEEE 802.1x 認証 [12-57](#)

アクセス不能認証バイパス [1-11](#), [12-52](#)

クリティカル認証 [12-23](#), [12-52](#)

レイヤ 2 IEEE 802.1x 検証 [1-10](#), [12-28](#), [12-57](#)

レイヤ 2 IP 検証 [1-10](#)

NameSpace Mapper

「NSM」を参照

NEAT

概要 [12-29](#)

設定する [12-58](#)

Network Admission Control

NAC

O

Open1x

設定する [12-63](#)

Open1x 認証

概要 [12-29](#)

Open Shortest Path First

「OSPF」を参照

OSPF

IPv6 用 [42-7](#)

LSA グループ ペーシング [41-34](#)

インターフェイス パラメータ、設定 [41-29](#)

エリア パラメータ、設定 [41-31](#)

仮想リンク [41-32](#)

経路集約 [41-32](#)

サポート [1-13](#)

設定 [41-28](#)

説明 [41-26](#)

デフォルト設定

設定 [41-27](#)

メトリック [41-32](#)

ルート [41-32](#)

モニタリング [41-35](#)

ルータ ID [41-34](#)

デフォルト設定 [50-10](#)

デンス モード

RPF 検索 [50-9](#)

概要 [50-5](#)

ランデブー ポイント (RP)、説明 [50-5](#)

ネイバーの表示 [50-65](#)

バージョン

v2 の改善点 [50-4](#)

相互運用性 [50-11](#)

相互運用性に関するトラブルシューティング [50-36](#)

モードのイネーブル化 [50-13](#)

ルータ クエリー メッセージ インターバル、変更 [50-39](#)

PIM-DVMRP、スヌーピング方式としての [28-9](#)

ping

概要 [53-10](#)

実行する [53-10](#)

文字出力の説明 [53-11](#)

PoE

トラブルシューティング [53-8](#)

Port Aggregation Protocol

「EtherChannel」を参照

Port Fast

イネーブルにする [23-10](#)

サポート [1-7](#)

説明 [23-2](#)

モード、スパニングツリー [16-27](#)

Port not Forwarding アラーム [3-3](#)

Port not Operating アラーム [3-3](#)

PROFINET [9-1](#)

設定 [9-5](#)

設定の表示 [9-5](#)

デフォルト設定 [9-4](#)

Protocol-Independent Multicast Protocol

「PIM」を参照

PTP

設定 [8-3](#)

設定の表示 [8-4](#)

P

PAGP

「EtherChannel」を参照

レイヤ 2 プロトコル トンネリング [20-9](#)

PBR

イネーブル化 [41-100](#)

高速スイッチングされたポリシーベース ルーティング [41-102](#)

定義 [41-98](#)

ローカル ポリシーベース ルーティング [41-102](#)

PC (パッシブ コマンド スイッチ) [6-11](#)

PE/CE ルーティング、設定 [41-85](#)

Per-VLAN Spanning-Tree plus

「PVST+」を参照

PIM

Shortest Path Tree、使用の延期 [50-38](#)

概要 [50-4](#)

共有ツリーおよび送信元ツリー、概要 [50-37](#)

サポート [1-14](#)

スタブ ルーティング

イネーブル化 [50-24](#)

概要 [50-5](#)

設定時の注意事項 [50-23](#)

表示 [50-65](#)

スパース モード

RPF 検索 [50-9](#)

概要 [50-5](#)

加入メッセージおよび共有ツリー [50-5](#)

プルーニング メッセージ [50-5](#)

デフォルト設定 [8-2](#)

PVST+

IEEE 802.1Q トランッキングの相互運用性 [21-11](#)

サポートされるインスタンス [21-10](#)

説明 [21-9](#)

Q

QoS

DSCP 透過 [39-41](#)

IP 電話

検出と信頼済みの設定 [39-21, 39-39](#)

自動分類とキューイング [39-21](#)

MQC コマンドと [39-1](#)

QoS ラベル、定義済み [39-4](#)

暗黙の拒否 [39-8](#)

概要 [39-2](#)

基本モデル [39-4](#)

キュー

SRR、説明 [39-15](#)

WTD、説明 [39-14](#)

出力特性を設定する [39-72](#)

高優先順位（緊急） [39-20, 39-78](#)

入力特性を設定する [39-68](#)

場所 [39-14](#)

クラス マップ

設定する [39-47](#)

表示 [39-80](#)

グローバルにイネーブルにする [39-36](#)

再書き込み [39-20](#)

サポート [1-12](#)

自動 QoS

VoIP 用にイネーブル化 [39-27](#)

実行コンフィギュレーションでの影響 [39-26](#)

出力キューのデフォルト [39-22](#)

初期設定を表示する [39-30](#)

生成コマンドのリスト [39-23](#)

生成コマンドを表示する [39-28](#)

設定時の注意事項 [39-26](#)

設定とデフォルト表示 [39-30](#)

設定例 [39-29](#)

説明 [39-21](#)

ディセーブルにする [39-28](#)

入力キューのデフォルト [39-22](#)

出力インターフェイスで帯域幅を制限する [39-79](#)

出力キュー

DSCP 値または CoS 値のマッピング [39-75](#)

SRR の共有重みを設定する [39-77](#)

SRR のシェーピング重みを設定する [39-76](#)

WTD しきい値の設定 [39-73](#)

WTD、説明 [39-19](#)

しきい値マップを表示する [39-76](#)

スケジューリング、説明 [39-4](#)

説明 [39-4](#)

バッファ領域を割り当てる [39-73](#)

バッファ割り当てスキーム、説明 [39-18](#)

フローチャート [39-18](#)

信頼状態

信頼済みデバイス [39-39](#)

説明 [39-5](#)

ドメイン内 [39-37](#)

別のドメインとの境界 [39-41](#)

設定時の注意事項

自動 QoS [39-26](#)

標準 QoS [39-34](#)

設定する

DSCP の透過性 [39-41](#)

DSCP マップ [39-62](#)

IP 拡張 ACL [39-45](#)

IP 標準 ACL [39-44](#)

MAC ACL [39-46](#)

自動 QoS [39-21](#)

集約ポリシング機能 [39-60](#)

出力キューの特性 [39-72](#)

信頼境界 [39-39](#)

デフォルト ポート CoS 値 [39-39](#)

ドメイン内のポートの信頼状態 [39-37](#)

入力キューの特性 [39-68](#)

- 別のドメインとの境界での DSCP 信頼状態 **39-41**
- ポリシー マップ、階層型 **39-53**
- デフォルト自動設定 **39-21**
- デフォルトの標準設定 **39-31**
- 統計情報を表示する **39-80**
- 入力キュー
 - DSCP 値または CoS 値のマッピング **39-69**
 - SRR の共有重みを設定する **39-71**
 - WTD しきい値の設定 **39-69**
 - WTD、説明 **39-17**
 - しきい値マップを表示する **39-69**
 - スケジューリング、説明 **39-4**
 - 説明 **39-4**
 - 帯域幅を割り当てる **39-71**
 - バッファと帯域幅の割り当て、説明 **39-17**
 - バッファ領域を割り当てる **39-70**
 - プライオリティ キュー、説明 **39-17**
 - プライオリティ キューを設定する **39-71**
 - フローチャート **39-16**
- パケットの変更 **39-20**
- フローチャート
 - 出力キューイングとスケジューリング **39-18**
 - 入力キューイングとスケジューリング **39-16**
 - 分類 **39-7**
 - ポリシングとマーキング **39-11**
- 分類
 - DSCP の透過性、説明 **39-41**
 - IP ACL、説明 **39-6, 39-8**
 - IP トラフィックのオプション **39-6**
 - MAC ACL、説明 **39-5, 39-8**
 - クラス マップ、説明 **39-8**
 - 信頼 DSCP、説明 **39-5**
 - 信頼 IP precedence、説明 **39-5**
 - 信頼済み CoS、説明 **39-5**
 - 定義済み **39-4**
 - 転送処理 **39-3**
 - 非 IP トラフィックのオプション **39-5**
 - フレームとパケットでの **39-3**
 - フローチャート **39-7**
 - ポリシー マップ、説明 **39-8**
- ポリサー
 - 設定 **39-52, 39-57, 39-61**
- ポリシー、インターフェイスに接続する **39-9**
- ポリシー マップ
 - SVI での階層 **39-53**
 - 階層 **39-9**
 - 特性 **39-49**
 - 表示する **39-80**
 - 物理ポートでの非階層 **39-49**
- ポリシング
 - 説明 **39-4, 39-9**
 - トークン バケット アルゴリズム **39-10**
- ポリシング機能
 - 数 **39-35**
 - 説明 **39-9**
 - タイプ **39-10**
 - 表示する **39-80**
- マーキング、説明 **39-4, 39-9**
- マークダウン アクション **39-52, 39-57**
- マッピング テーブル
 - CoS/DSCP **39-63**
 - DSCP/CoS **39-66**
 - DSCP/DSCP 変換 **39-67**
 - IP precedence/DSCP **39-64**
 - タイプ **39-13**
 - 表示する **39-80**
 - ポリシング済み DSCP **39-65**
- QoS の CoS 入力キューしきい値マップ **39-17**
- QoS の DSCP 入力キューしきい値マップ **39-17**
- Quality Of Service
 - 「QoS」を参照
- Quality of Service
 - 「QoS」を参照

R

RADIUS

AAA サーバグループを定義する [11-33](#)

概要 [11-19](#)

クラスタでの [6-15](#)

サーバロード バランシング [11-41](#)

サーバを指定する [11-29](#)

サポート [1-11](#)

設定する

アカウンティング [11-36](#)

通信、グローバル [11-29, 11-37](#)

通信、サーバ単位 [11-29](#)

認可 [11-35](#)

認証 [11-31](#)

複数 UDP ポート [11-29](#)

設定を表示する [11-41](#)

操作 [11-21](#)

属性

ベンダー固有 [11-37](#)

ベンダー専用 [11-39](#)

デフォルト設定 [11-28](#)

ネットワーク環境の提案 [11-20](#)

方式リスト、定義済み [11-28](#)

ユーザに対するサービスを制限する [11-35](#)

ユーザによってアクセスされるサービスをトラッキングする [11-36](#)

RADIUS 許可の変更 [11-21](#)

Rapid Per-VLAN Spanning-Tree plus

「Rapid PVST+」を参照

Rapid PVST+

IEEE 802.1Q トランッキングの相互運用性 [21-11](#)

サポートされるインスタンス [21-10](#)

説明 [21-9](#)

RARP [41-9](#)

rcommand コマンド [6-16](#)

RCP

イメージファイル

アップロードする [A-36](#)

サーバを準備する [A-33](#)

ダウンロードする [A-34](#)

古いイメージを削除する [A-36](#)

設定ファイル

アップロードする [A-18](#)

概要 [A-16](#)

サーバを準備する [A-16](#)

ダウンロードする [A-17](#)

Remote Authentication Dial-In User Service

「RADIUS」を参照

Remote SPAN [30-2](#)

REP

SNMP トラップ、設定 [24-14](#)

VLAN ブロッキング [24-13](#)

VLAN ロード バランシング [24-4](#)

VLAN ロード バランシングのトリガー [24-5](#)

インターフェイスの設定 [24-10](#)

エージング タイマー [24-8](#)

オープン セグメント [24-2](#)

および STP [24-6](#)

管理 VLAN [24-9](#)

管理 VLAN、設定 [24-9](#)

コンバージェンス [24-4](#)

サポートされるインターフェイス [24-1](#)

手動によるプリエンブション、設定 [24-14](#)

セカンダリ エッジ ポート [24-4](#)

セグメント [24-1](#)

特性 [24-2](#)

設定時の注意事項 [24-7](#)

デフォルト設定 [24-7](#)

ネイバー オフセット番号 [24-4](#)

プライマリ エッジ ポート [24-4](#)

プリエンブション遅延時間 [24-5](#)

ポート [24-6](#)

モニタリング [24-15](#)

リンク完全性の確認 [24-3](#)

リング セグメント [24-2](#)

Resilient Ethernet Protocol

「REP」を参照

RFC

1058、RIP [41-20](#)

1112、IP マルチキャストと IGMP [28-2](#)

- 1157、SNMPv1 [36-2](#)
- 1163、BGP [41-43](#)
- 1166、IP アドレス [41-5](#)
- 1253、OSPF [41-26](#)
- 1267、BGP [41-43](#)
- 1305、NTP [7-2](#)
- 1587、NSSA [41-26](#)
- 1757、RMON [34-2](#)
- 1771、BGP [41-43](#)
- 1901、SNMPv2C [36-2](#)
- 1902～1907、SNMPv2 [36-2](#)
- 2236、IP マルチキャストと IGMP [28-2](#)
- 2273-2275、SNMPv3 [36-2](#)
- RFC 5176 規定 [11-23](#)
- RIP
 - IPv6 用 [42-7](#)
 - アダプタイズメント [41-20](#)
 - サポート [1-13](#)
 - サマリー アドレス [41-24](#)
 - スプリット ホライズン [41-24](#)
 - 設定 [41-21](#)
 - 説明 [41-20](#)
 - デフォルト設定 [41-20](#)
 - 認証 [41-23](#)
 - ホップ カウント [41-20](#)
- RMON
 - アラームとイベントをイネーブルにする [34-3](#)
 - 概要 [34-1](#)
 - サポート [1-14](#)
 - サポートされるグループ [34-2](#)
 - ステータスを表示する [34-6](#)
 - デフォルト設定 [34-3](#)
 - 統計情報
 - グループ イーサネットを収集する [34-6](#)
 - グループ履歴を収集する [34-5](#)
- route-map コマンド [41-101](#)
- Routing Information Protocol
 - 「RIP」を参照
- RSPAN
 - VLAN ベース [30-6](#)
 - 宛先ポート [30-7](#)
 - 概要 [1-14, 30-1](#)
 - 受信トラフィック [30-4](#)
 - ステータスを表示する [30-23](#)
 - セッション
 - 作成する [30-17](#)
 - 定義済み [30-3](#)
 - 特定の VLAN に対する送信元トラフィックを制限する [30-22](#)
 - 入力トラフィックをイネーブルにする [30-20](#)
 - モニタリングされるポートを指定する [30-17](#)
 - 設定時の注意事項 [30-16](#)
 - 送信トラフィック [30-5](#)
 - 送信元ポート [30-5](#)
 - 定義済み [30-2](#)
 - デフォルト設定 [30-9](#)
 - 特性 [30-8](#)
 - 他の機能との相互動作 [30-8](#)
 - モニタリングされるポート [30-5](#)
 - モニタリング ポート [30-7](#)
- RSTP
 - BPDU
 - 形式 [22-12](#)
 - 処理 [22-13](#)
 - IEEE 802.1D との相互運用性
 - 移行プロセスの再起動 [22-26](#)
 - 説明 [22-8](#)
 - トポロジの変更 [22-13](#)
 - 「MSTP」も参照
 - アクティブ トポロジ [22-9](#)
 - 概要 [22-9](#)
 - 高速コンバージェンス
 - エッジ ポートおよび Port Fast [22-10](#)
 - 説明 [22-10](#)
 - ポイントツーポイント リンク [22-10, 22-25](#)
 - ルート ポート [22-10](#)
 - 指定スイッチ、定義 [22-9](#)
 - 指定ポート、定義 [22-9](#)

提案合意ハンドシェイク プロセス **22-10**

ポートの役割

説明 **22-9**

同期 **22-11**

ルート ポート、定義 **22-9**

S

SCP

SSH と **11-58**

設定する **11-58**

「SCP」を参照

SC (スタンバイ コマンド スイッチ) **6-11**

SDM

テンプレート

数 **10-1**

設定する **10-4**

SDM テンプレート **45-3**

設定時の注意事項 **10-3**

設定する **10-3**

タイプ **10-1**

デュアル IPv4/IPv6 **10-2**

Secure Copy Protocol

Secure Socket Layer

「SSL」を参照

set-request オペレーション **36-4**

SFP

ステータス、表示する **53-10**

セキュリティと識別情報 **53-9**

モニタリング ステータス **14-27, 53-10**

show access-lists hw-summary コマンド **38-22**

show alarm コマンド **3-13**

show cdp traffic コマンド **32-6**

show cluster members コマンド **6-16**

show configuration コマンド **14-21**

show forward コマンド **53-17**

show interfaces switchport **25-4**

show interfaces コマンド **14-19, 14-21**

show l2protocol コマンド **20-14, 20-16, 20-17**

show lldp traffic コマンド **31-11**

show platform forward コマンド **53-17**

show running-config コマンド

ACL を表示する **38-20, 38-21, 38-33, 38-35**

インターフェイスの説明 **14-21**

show コマンドと more コマンドの出力、フィルタリング **2-10**

shutdown コマンド、インターフェイスでの **14-28**

SmartPort マクロ

グローバル パラメータ値の適用 **15-3**

シスコのデフォルト マクロの適用 **15-3**

設定時の注意事項 **15-2**

デフォルト設定 **15-1**

トレース **15-2**

表示 **15-5**

SNAP **32-1**

SNMP

CPU しきい値通知を設定する **36-17**

ifIndex 値 **36-6**

IP SLA と **47-2**

MIB 変数にアクセスする **36-4**

TFTP サーバによるアクセスを制限する **36-18**

エージェント

説明 **36-4**

ディセーブルにする **36-8**

エンジン ID **36-7**

概要 **36-1, 36-4**

クラスタでの **6-15**

クラスタを管理する **6-17**

グループ **36-7, 36-10**

コミュニティ ストリング

概要 **36-4**

クラスタ スイッチの **36-4**

設定する **36-8**

サポートされるバージョン **36-2**

システム接点と場所 **36-17**

システム ログ メッセージを NMS に対して制限する **35-10**

情報

- イネーブルにする **36-16**
- 説明 **36-5**
- ディセーブルにする **36-16**
- トラップ キーワードと **36-13**
- トラップとの違い **36-5**
- ステータス、表示する **36-19**
- セキュリティ レベル **36-3**
- 設定例 **36-18**
- 帯域内管理 **1-6**
- 通知 **36-5**
- デフォルト設定 **36-7**
- トラップ
 - MAC アドレス通知をイネーブルにする **7-15, 7-17, 7-19**
 - イネーブルにする **36-13**
 - 概要 **36-1, 36-4**
 - 情報との違い **36-5**
 - 説明 **36-3, 36-5**
 - タイプ **36-13**
 - ディセーブルにする **36-16**
 - トラップ マネージャ、設定する **36-14**
 - 認証レベル **36-11**
 - ホスト **36-7**
 - マネージャ機能 **1-4, 36-3**
 - ユーザ **36-7, 36-10**
- SNMPv1 **36-2**
- SNMPv2C **36-2**
- SNMPv3 **36-2**
- SNMP と Syslog、IPv6 による **42-8**
- SNMP トラップ
 - REP **24-14**
- Source-Specific Multicast
 - 「SSM」を参照
- SPAN
 - VLAN ベース **30-6**
 - 宛先ポート **30-7**
 - 概要 **1-14, 30-1**
 - 受信トラフィック **30-4**
 - ステータスを表示する **30-23**
- セッション
 - 宛先（モニタリング）ポートを削除する **30-12**
 - 作成する **30-11**
 - 定義済み **30-3**
 - 特定の VLAN に対する送信元トラフィックを制限する **30-15**
 - 入力転送を設定する **30-14, 30-21**
 - 入力トラフィックをイネーブルにする **30-13**
 - モニタリングされるポートを指定する **30-11**
- 設定時の注意事項 **30-10**
- 送信トラフィック **30-5**
- 送信元ポート **30-5**
- デフォルト設定 **30-9**
- ポート、制約事項 **29-13**
- 他の機能との相互動作 **30-8**
- モニタリングされるポート **30-5**
- モニタリング ポート **30-7**
- SPAN トラフィック **30-4**
- SRR
 - 共有モード **39-15**
 - サポート **1-12, 1-13**
 - シェーピング モード **39-15**
 - 設定する
 - 出力キューでの共有重み **39-77**
 - 出力キューでのシェーピング重み **39-76**
 - 入力キューでの共有重み **39-71**
 - 説明 **39-15**
- SSH
 - 暗号化ソフトウェア イメージ **11-47**
 - 暗号化方式 **11-48**
 - 設定 **11-48**
 - 説明 **1-6, 11-47**
 - ユーザ認証方式、サポートされる **11-48**
- SSL
 - 暗号化ソフトウェア イメージ **11-51**
 - セキュア HTTP クライアントを設定する **11-56**
 - セキュア HTTP サーバを設定する **11-55**
 - 設定時の注意事項 **11-54**
 - 説明 **11-51**

- モニタリング **11-57**
- SSM
 - CGMP の制限 **50-16**
 - IGMPv3 **50-14**
 - IGMPv3 ホスト シグナリング **50-16**
 - IGMP スヌーピング **50-16**
 - Internet Standard Multicast との違い **50-14**
 - IP アドレス範囲 **50-15**
 - PIM **50-14**
 - アドレス管理に関する制約 **50-16**
 - コンポーネント **50-14**
 - ステート維持の制限 **50-17**
 - 設定 **50-14, 50-17**
 - 設定時の注意事項 **50-16**
 - 動作 **50-15**
 - モニタリング **50-17**
- SSM マッピング **50-17**
 - DNS ベース **50-19, 50-21**
 - 概要 **50-18**
 - スタティック **50-19, 50-21**
 - スタティック トラフィック転送 **50-22**
 - 制限 **50-18**
 - 設定 **50-17, 50-20**
 - 設定時の注意事項 **50-18**
 - モニタリング **50-23**
- standby ip コマンド **46-6**
- STP
 - BackboneFast
 - イネーブルにする **23-14**
 - 説明 **23-5**
 - ディセーブルにする **23-15**
 - BPDU ガード
 - イネーブルにする **23-11**
 - 説明 **23-2**
 - ディセーブルにする **23-12**
 - BPDU フィルタリング
 - イネーブルにする **23-12**
 - 説明 **23-3**
 - ディセーブルにする **23-13**
 - BPDU メッセージ交換 **21-3**
 - EtherChannel ガード
 - イネーブルにする **23-15**
 - 説明 **23-7**
 - ディセーブルにする **23-15**
 - IEEE 802.1D とブリッジ ID **21-4**
 - IEEE 802.1D とマルチキャスト アドレス **21-8**
 - IEEE 802.1Q トランクでの制限 **21-10**
 - IEEE 802.1t と VLAN 識別情報 **21-4**
 - Port Fast
 - イネーブルにする **23-10**
 - 説明 **23-2**
 - Port Fast 対応ポートのシャットダウン **23-2**
 - UplinkFast
 - イネーブルにする **23-14**
 - 説明 **23-3**
 - VLAN ブリッジ **21-11**
 - インターフェイスの状態
 - 概要 **21-4**
 - ディセーブル **21-7**
 - 転送する **21-5, 21-7**
 - ブロッキング **21-6**
 - ラーニング **21-6**
 - リスニング **21-6**
 - インターフェイスの状態、転送のブロッキング **23-2**
 - および REP **24-6**
 - 下位 BPDU **21-3**
 - 概要 **21-2**
 - カウンタ、クリア **21-24**
 - 拡張システム ID
 - 概要 **21-4**
 - セカンダリ ルート スイッチの影響 **21-17**
 - 予期しない動作 **21-16**
 - ルート スイッチの影響 **21-15**
 - 間接リンク障害を検出する **23-5**
 - サポートされるインスタンス **21-10**
 - サポートされるオプション機能 **1-7**
 - サポートされる機能 **1-7**

- サポートされるプロトコル [21-9](#)
 - サポートされるモード [21-9](#)
 - 指定スイッチ、定義済み [21-4](#)
 - 指定ポート、定義済み [21-4](#)
 - 冗長接続性 [21-8](#)
 - ステータス、表示する [21-23](#)
 - ステータスを表示する [21-23](#)
 - 設定
 - hello タイム [21-21](#)
 - 最大エージング タイム [21-22](#)
 - セカンダリ ルート スイッチ [21-17](#)
 - 転送遅延時間 [21-22](#)
 - ポート プライオリティ [21-17](#)
 - 設定時の注意事項 [21-12, 23-10](#)
 - 設定する
 - スイッチ プライオリティ [21-20](#)
 - スパニングツリー モード [21-14](#)
 - 転送保留カウンタ [21-23](#)
 - パス コスト [21-19](#)
 - ルート スイッチ [21-15](#)
 - タイマー、説明 [21-21](#)
 - ディセーブルにする [21-15](#)
 - デフォルト設定 [21-12](#)
 - デフォルトのオプション機能設定 [23-10](#)
 - パス コスト [16-24, 16-25](#)
 - ポート プライオリティ [16-23](#)
 - マルチキャスト アドレス、影響 [21-8](#)
 - モード間での相互運用性と互換性 [21-10](#)
 - 優位 BPDU [21-3](#)
 - ルート ガード
 - イネーブルにする [23-16](#)
 - 説明 [23-8](#)
 - ルート スイッチ
 - 拡張システム ID の影響 [21-4, 21-15](#)
 - 設定する [21-15](#)
 - 選択 [21-3](#)
 - 予期しない動作 [21-16](#)
 - ルート スイッチ選択を防止する [23-8](#)
 - ルート ポート選択のアクセラレーション [23-4](#)
 - ルート ポート、定義済み [21-3](#)
 - ループ ガード
 - イネーブルにする [23-16](#)
 - 説明 [23-9](#)
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング [20-8](#)
 - ロードシェアリング
 - 概要 [16-22](#)
 - パス コストを使用する [16-24](#)
 - ポート プライオリティを使用する [16-23](#)
 - SunNet Manager [1-4](#)
 - SVI
 - IP ユニキャスト ルーティング [41-3](#)
 - VLAN 間でのルーティング [16-2](#)
 - VLAN の接続 [14-7](#)
 - 定義 [14-5](#)
 - ルータ ACL [38-4](#)
 - SVI 自動ステート除外
 - 設定する [14-24](#)
 - 定義 [14-6](#)
 - SVI リンク ステート [14-6](#)
 - Switch Database Management
 - 「SDM」を参照
 - switchport backup interface [25-4, 25-5](#)
 - switchport block multicast コマンド [29-8](#)
 - switchport block unicast コマンド [29-8](#)
 - switchport mode dot1q-tunnel コマンド [20-7](#)
 - switchport protected コマンド [29-7](#)
 - switchport コマンド [14-14](#)
 - Syslog
 - 「システム メッセージ ロギング」を参照
-
- ## T
- TACACS+
 - アカウンティング、定義済み [11-12](#)
 - 概要 [11-11](#)
 - クラスタでの [6-15](#)
 - サーバを指定する [11-14](#)
 - サポート [1-11](#)

設定する

アカウントティング **11-18**認可 **11-17**認証キー **11-14**ログイン認証 **11-15**設定を表示する **11-19**操作 **11-13**デフォルト設定 **11-14**認可、定義済み **11-12**認証、定義済み **11-12**ユーザに対するサービスを制限する **11-17**ユーザによってアクセスされるサービスをトラッキングする **11-18**

tar ファイル

イメージファイルの形式 **A-24**作成する **A-6**抽出する **A-7**内容を表示する **A-7**TCL スクリプト、組み込みイベント マネージャによる登録と定義 **37-6**TDR **1-15**

Telnet

管理インターフェイスにアクセスする **2-10**接続数 **1-6**パスワードを設定する **11-6**

Terminal Access Controller Access Control System Plus

「TACACS+」を参照

TFTP

イメージファイル

アップロードする **A-28**サーバを準備する **A-25**削除する **A-27**ダウンロードする **A-26**サーバによるアクセスを制限する **36-18**自動設定を設定する **4-8**

設定ファイル

アップロードする **A-12**サーバを準備する **A-11**ダウンロードする **A-11**ベース ディレクトリの設定ファイル **4-8**TFTP サーバ **1-5**time-range コマンド **38-17**

TLV

LLDP **31-1**LLDP-MED **31-2**定義済み **31-1**ToS **1-12**traceroute コマンド **53-14**

「IP traceroute」も参照

traceroute、レイヤ 2

1 ポートに複数のデバイス **53-13**ARP **53-12**CDP **53-12**IP アドレスおよびサブネット **53-12**MAC アドレスおよび VLAN **53-12**説明 **53-12**ブロードキャスト トラフィック **53-12**マルチキャスト トラフィック **53-12**ユニキャスト トラフィック **53-12**

tracerout、レイヤ 2

使用上の注意事項 **53-12**

U

UDLD

イネーブル化

グローバル **33-5**

イネーブルにする

インターフェイスごとの **33-5**インターフェイスをリセットする **33-6**概要 **33-1**検出メカニズムをエコーする **33-3**サポート **1-7**ステータス、表示する **33-7**設定時の注意事項 **33-4**

ディセーブルにする

インターフェイスごとの **33-5**グローバルに **33-5**

光ファイバ インターフェイスでの **33-5**
 デフォルト設定 **33-4**
 ネイバー データベース **33-2**
 リンク検出メカニズム **33-1**
 レイヤ 2 プロトコル トンネリング **20-11**
 UDLD シャットダウン インターフェイスをリセットする **33-6**
 UDP ジッタ、設定する **47-9**
 UDP ジッタ動作、IP SLA **47-9**
 UDP、設定 **41-16**
 unicast storm control コマンド **29-4**
 UNIX Syslog サーバ
 サポートされる機能 **35-14**
 デーモンの設定 **35-13**
 メッセージ ロギング設定 **35-13**
 UplinkFast
 イネーブルにする **23-14**
 説明 **23-3**
 ディセーブルにする **23-14**

V

VLAN

1006 ~ 4094 の ID を設定する **16-11**
 RSPAN での送信元トラフィックを制限する **30-22**
 SPAN での送信元トラフィックを制限する **30-15**
 STP と IEEE 802.1Q トランク **21-10**
 SVI による接続 **14-7**
 VLAN データベースに追加する **16-8**
 VLAN ブリッジ STP **21-11, 52-2**
 VTP モード **17-3**
 拡張範囲 **16-1, 16-11**
 機能 **1-8**
 サービス プロバイダー ネットワーク内のカスタマー番号 **20-3**
 削除する **16-9**
 作成する **16-9**
 サポートされる **16-2**
 サポートされる番号 **1-8**

図示 **16-2**
 スタティック アクセス ポート **16-10**
 スパニングツリー インスタンスと **16-3, 16-7, 16-12**
 設定 **16-1**
 設定時の注意事項、拡張範囲 VLAN **16-11**
 設定時の注意事項、標準範囲 VLAN **16-6**
 説明 **14-2, 16-1**
 ダイナミック アドレスのエージング **21-9**
 追加 **16-8**
 デフォルト設定 **16-7**
 トークンリング **16-6**
 トラフィック **16-2**
 トランク上で許可される **16-20**
 内部 **16-12**
 ネイティブ、設定する **16-22**
 パラメータ **16-5**
 表示する **16-15**
 標準範囲 **16-1, 16-5**
 変更する **16-8**
 ポート メンバーシップ モード **16-3**
 マルチキャスト **28-18**
 vlan.dat ファイル **16-5**
 VLAN 1、トランク ポート上でディセーブルにする **16-20**
 VLAN 1 の最小化 **16-20**
 VLAN ACL
 「VLAN マップ」を参照
 vlan dot1q tag native コマンド **20-5**
 VLAN ID、検出する **7-24**
 VLAN Query Protocol
 「VQP」を参照
 VLAN 間ルーティング **1-13, 41-2**
 VLAN 管理ドメイン **17-2**
 vlan グローバル コンフィギュレーション コマンド **16-7**
 VLAN コンフィギュレーション モード **2-2**
 VLAN 設定
 起動時 **16-7**
 保存 **16-7**

VLAN データベース

VLAN の保存 **16-5**VTP と **17-1**スタートアップ コンフィギュレーション ファイル
と **16-7**保存されている VLAN 設定 **16-7**

VLAN トランッキング プロトコル

「VTP」を参照

VLAN トランク **16-15**VLAN の削除 **16-9**VLAN フィルタリングと SPAN **30-6**VLAN ブロッキング、REP **24-13**

VLAN マップ

ACL と VLAN マップの例 **38-33**一般的な使用方法 **38-36**サーバに対するアクセス拒否の例 **38-37**削除する **38-35**作成 **38-33**サポート **1-9**設定時の注意事項 **38-32**設定する **38-31**定義済み **38-2**適用 **38-35**パケットの拒否と許可 **38-33**表示 **38-43**ワイヤリング クローゼットの設定例 **38-36**VLAN マップ エントリ、順序 **38-32**

VLAN マネジメント ポリシー サーバ

「VMPS」を参照

VLAN メンバーシップ

確認する **16-29**モード **16-3**VLAN リンク ステート **14-6**

VLAN ロード バランシング

REP **24-4**VLAN ロード バランシング、Flex Link の **25-2**設定時の注意事項 **25-8**VLAN ロード バランシング、トリガー **24-5**VLAN 割り当て応答、VMPS **16-26**

VMPS

MAC アドレスの VLAN へのマッピング **16-26**管理する **16-31**サーバ アドレスを入力する **16-28**再確認間隔、変更する **16-30**設定時の注意事項 **16-27**設定例 **16-32**説明 **16-26**

ダイナミック ポート メンバーシップ

再確認する **16-30**説明 **16-27**トラブルシューティング **16-31**デフォルト設定 **16-27**メンバーシップを再確認する **16-29**モニタリング **16-31**リトライ回数、変更する **16-30**Voice over IP **18-1**

VPN

サービス プロバイダー ネットワーク内 **41-76**フォワーディング **41-78**ルーティングの設定 **41-85**ルート **41-77**

VPN ルーティングおよび転送テーブル

「VRF」を参照

VQP **1-8, 16-26**

VRF

定義 **41-78**テーブル **41-76**

VRF 認識サービス

ARP **41-82**ftp **41-84**HSRP **41-83**ping **41-82**SNMP **41-82**syslog **41-83**tftp **41-84**traceroute **41-84**設定 **41-81**

VTP

アドバタイズメント [16-17, 17-3, 17-4](#)
 拡張範囲 VLAN と [16-3, 17-1](#)
 クライアント モード、設定する [17-12](#)
 クライアントをドメインに追加する [17-16](#)
 サーバ モード、設定する [17-10, 17-14](#)
 サポート [1-8](#)
 使用する [17-1](#)
 整合性検査 [17-4](#)
 設定
 注意事項 [17-8](#)
 保存する [17-8](#)
 要件 [17-10](#)
 設定の要件 [17-10](#)
 設定リビジョン番号
 注意事項 [17-16](#)
 リセットする [17-17](#)
 説明 [17-1](#)
 デフォルト設定 [17-8](#)
 統計情報 [17-18](#)
 トークンリングのサポート [17-4](#)
 ドメイン [17-2](#)
 ドメイン名 [17-9](#)
 トランスペアレント モード、設定 [17-11](#)
 バージョン
 イネーブルにする [17-14](#)
 バージョン 1 [17-4](#)
 バージョン 2
 概要 [17-4](#)
 設定時の注意事項 [17-9](#)
 バージョン 3
 概要 [17-5](#)
 バージョン、注意事項 [17-9](#)
 パスワード [17-9](#)
 標準範囲 VLAN と [16-3, 17-1](#)
 プルーニング
 イネーブルにする [17-15](#)
 概要 [17-5](#)
 サポート [1-8](#)
 ディセーブルにする [17-15](#)

例 [17-6](#)
 プルーニング適格リスト、変更する [16-21](#)
 モード
 オフ [17-3](#)
 クライアント [17-3](#)
 サーバ [17-3](#)
 トランスペアレント [17-3](#)
 変遷 [17-3](#)
 モニタリング [17-18](#)
 レイヤ 2 プロトコル トンネリング [20-8](#)

W

WCCP

MD5 セキュリティ [49-3](#)
 イネーブル化 [49-6](#)
 クライアントから受信したトラフィックのリダイレクト [49-6](#)
 サポートしない WCCPv2 機能 [49-4](#)
 サポートしない機能 [49-4](#)
 設定時の注意事項 [49-5](#)
 説明 [49-1](#)
 ダイナミック サービス グループ [49-3](#)
 デフォルト設定 [49-5](#)
 転送方式 [49-3](#)
 認証 [49-3](#)
 ネゴシエーション [49-3](#)
 パケットのリダイレクト [49-3](#)
 パケット戻し方式 [49-3](#)
 パスワードの設定 [49-7](#)
 表示 [49-10](#)
 メッセージ交換 [49-2](#)
 モニタリングおよびメンテナンス [49-10](#)
 レイヤ 2 ヘッダー書き換え [49-3](#)

Web Cache Communication Protocol

「WCCP」を参照

Web 認証 [12-16](#)
 設定する [13-16 ~ ??](#)
 説明 [1-8](#)

Web ベース認証

カスタマイズ可能な Web ページ [13-6](#)

説明 [13-1](#)

Web ベース認証、他の機能との相互作用 [13-7](#)

Weighted Tail Drop

「WTD」を参照

WTD

サポート [1-12, 1-13](#)

しきい値を設定する

出力キュー セット [39-73](#)

入力キュー [39-69](#)

説明 [39-14](#)

X

Xmodem プロトコル [53-2](#)

あ

アカウントティング

802.1x での [12-48](#)

IEEE 802.1x での [12-14](#)

RADIUS での [11-36](#)

TACACS+ での [11-12, 11-18](#)

アクセス拒否応答、VMPS [16-26](#)

アクセス グループ

IPv4 ACL をインターフェイスに対して適用する [38-21](#)

レイヤ 2 [38-21](#)

レイヤ 3 [38-21](#)

アクセス コントロール エントリ

「ACE」を参照

アクセス コントロール エントリ (ACE) [45-3](#)

アクセスする

クラスタ、スイッチ [6-14](#)

コマンドスイッチ [6-12](#)

スイッチ クラスタ [6-14](#)

メンバスイッチ [6-14](#)

アクセス不能認証バイパス [12-23](#)

multiauth ポートのサポート [12-23](#)

アクセス ポート

スイッチ クラスタでの [6-10](#)

定義済み [14-3](#)

レイヤ 2 プロトコル トンネリング [20-11](#)

アクセス リスト

「ACL」を参照

アクティブ トラフィック モニタリング、IP SLA [47-1](#)

アクティブ リンク [25-2, 25-4, 25-5, 25-6](#)

アクティブ ルータ [46-2](#)

アップグレードする、ソフトウェア イメージを

「ダウンロードする」を参照

アップロードする

イメージファイル

FTP を使用する [A-32](#)

RCP を使用する [A-36](#)

TFTP を使用する [A-28](#)

準備する [A-25, A-29, A-33](#)

理由 [A-24](#)

設定ファイル

FTP を使用する [A-15](#)

RCP を使用する [A-18](#)

TFTP を使用する [A-12](#)

準備する [A-11, A-13, A-16](#)

理由 [A-9](#)

宛先 IP アドレス ベース転送、EtherChannel [40-8](#)

宛先 MAC アドレス転送、EtherChannel [40-8](#)

宛先アドレス

IPv4 ACL での [38-12](#)

IPv6 ACL [45-5](#)

アドバタイズメント

CDP [32-1](#)

LLDP [31-1, 31-2](#)

RIP [41-20](#)

VTP [16-17, 17-3, 17-4](#)

アドミニストレーティブ ディスタンス

OSPF [41-32](#)

定義 [41-104](#)

ルーティング プロトコルのデフォルト [41-93](#)

- アドレス
 - IPv6 [42-2](#)
 - MAC アドレス テーブルを表示する [7-24](#)
 - MAC、検出する [7-24](#)
 - スタティック
 - 追加と削除 [7-20](#)
 - 定義済み [7-12](#)
 - ダイナミック
 - エージング タイムを変更する [7-14](#)
 - エージングのアクセラレーション [21-9](#)
 - 削除する [7-15](#)
 - 定義済み [7-12](#)
 - デフォルト エージング [21-9](#)
 - ラーニング [7-13](#)
 - マルチキャスト
 - STP アドレス管理 [21-8](#)
 - グループ アドレス範囲 [50-3](#)
 - アドレス解決 [7-24, 41-8](#)
 - アドレス解決プロトコル
 - 「ARP」を参照
 - アドレスのエイリアス [28-2](#)
 - アプリケーション エンジン、トラフィックのリダイレクト [49-1](#)
 - アベイラビリティ、機能 [1-7](#)
 - アラーム
 - 温度 [3-2](#)
 - 電源装置 [3-2](#)
 - 表示 [3-13](#)
 - アラーム、RMON [34-4](#)
 - アラーム発生のオプション
 - SNMP トラップ [3-4](#)
 - Syslog メッセージ [3-4](#)
 - 方法 [3-3](#)
 - リレー設定 [3-3](#)
 - アラーム プロファイル
 - 作成または変更 [3-11](#)
 - 設定 [3-12](#)
 - 暗号化、CipherSuite [11-53](#)
 - 暗号化ソフトウェア イメージ
 - Kerberos [11-41](#)
 - SSH [11-47](#)
 - SSL [11-51](#)
 - 暗号化、パスワードの [11-4](#)
-
- い
 - イーサネット VLAN
 - 追加する [16-8](#)
 - デフォルトと範囲 [16-8](#)
 - 変更する [16-8](#)
 - 一時的な自己署名証明書 [11-52](#)
 - 一致する、IPv4 ACL [38-7](#)
 - 一般クエリー [25-5](#)
 - イネーブル化、SNMP トラップの [3-13](#)
 - イネーブル パスワード [11-4](#)
 - イベント、RMON [34-4](#)
 - イベント検出器、組み込みイベント マネージャ [37-2](#)
 - インターネット制御メッセージプロトコル
 - 「ICMP」を参照
 - インターネット プロトコル バージョン 6
 - 「IPv6」を参照
 - インターフェイス
 - Auto-MDIX、設定する [14-20](#)
 - カウンタ、クリアする [14-27](#)
 - 管理 [1-4](#)
 - 再起動 [14-28](#)
 - サポートされる [14-8](#)
 - シャットダウンする [14-28](#)
 - 情報を表示する [14-26](#)
 - ステータス [14-26](#)
 - 設定時の注意事項
 - デュプレックスと速度 [14-17](#)
 - 設定する
 - 手順 [14-9](#)
 - 説明 [14-21](#)
 - タイプ [14-1](#)
 - デフォルト設定 [14-14](#)
 - デュプレックスと速度、設定する [14-18](#)

範囲 **14-10**
 範囲マクロ **14-12**
 物理、指定する **14-8**
 フロー制御 **14-19**
 命名する **14-21**
 モニタリング **14-26**
 わかりやすい名前、追加 **14-21**
 インターフェイス コマンド **14-8 ~ 14-9**
 インターフェイス コンフィギュレーション
 REP **24-10**
 インターフェイス コンフィギュレーション モード **2-3**
 インターフェイス タイプ **14-8**
 インベントリ管理 TLV **31-2, 31-7**

え

永続的な自己署名証明書 **11-52**
 エージング タイマー、REP **24-8**
 エージング タイム
 MAC アドレス テーブル **7-14**
 アクセラレーション
 MSTP の **22-24**
 STP での **21-9, 21-22**
 最大
 MSTP **22-24, 22-25**
 STP での **21-22, 21-23**
 エージング、短縮 **21-9**
 エラー メッセージ、コマンド入力中の **2-5**
 エリア ボーダ ルータ
 「ABR」を参照
 エリア ルーティング
 IS-IS **41-65**
 ISO IGRP **41-65**

お

応答側、IP SLA
 イネーブルにする **47-8**
 説明 **47-4**

応答時間、IP SLA で測定する **47-4**
 オブジェクト トラッキング
 HSRP **48-7**
 IP SLA **48-9**
 IP SLA、設定 **48-9**
 モニタリング **48-13**
 オブジェクト トラッキングのプライマリ インターフェイス、DHCP、設定 **48-11**
 オブジェクトのトラッキング **48-2**
 オプション、管理 **1-4**
 オフ モード、VTP **17-3**
 音声 VLAN
 Cisco 7960 Phone、ポート接続 **18-1**
 IP 電話音声トラフィック、説明 **18-2**
 IP 電話データ トラフィック、説明 **18-2**
 IP 電話への接続 **18-4**
 音声トラフィックに対してポートを設定する
 802.1p プライオリティ タグ付きフレーム **18-5**
 音声トラフィック用のポート設定
 802.1Q フレーム **18-5**
 設定時の注意事項 **18-3**
 説明 **18-1**
 データ トラフィックに対して IP 電話を設定する
 着信フレームの CoS のオーバーライド **18-6**
 着信フレームの CoS プライオリティの信頼 **18-6**
 デフォルト設定 **18-3**
 表示する **18-7**
 音声認識 802.1x セキュリティ
 ポートベース認証
 設定する **12-37**
 説明 **12-29, 12-37**
 温度アラーム、設定 **3-7, 3-8**

か

階層、NTP **7-2**
 階層型ポリシー マップ
 設定時の注意事項 **39-34**

- 設定する [39-53](#)
- 説明 [39-12](#)
- 階層ポリシー マップ [39-9](#)
- 回復手順 [53-1](#)
- 外部ネイバー、BGP [41-48](#)
- カウンタ、インターフェイスをクリアする [14-27](#)
- 拡散更新アルゴリズム (DUAL) [41-35](#)
- 拡張 crashinfo ファイル [53-20](#)
- 拡張 IGRP
 - 「EIGRP」を参照
- 拡張オブジェクト トラッキング
 - DHCP プライマリ インターフェイス [48-11](#)
 - HSRP [48-7](#)
 - IP SLA [48-9](#)
 - IP SLA でのネットワーク モニタリング [48-11](#)
 - IP ルーティング ステート [48-2](#)
 - コマンド [48-1](#)
 - スタティック ルート プライマリ インターフェイス [48-11](#)
 - 追跡リスト [48-3](#)
 - 定義 [48-1](#)
 - バックアップ スタティック ルーティング [48-12](#)
 - ラインプロトコル ステート [48-2](#)
 - ルーティング ポリシー、設定 [48-12](#)
- 拡張オブジェクト トラッキングのスタティック ルーティング [48-10](#)
- 拡張システム ID
 - MSTP [22-18](#)
 - STP [21-4, 21-15](#)
- 拡張範囲 VLAN
 - 作成する [16-12](#)
 - 設定 [16-11](#)
 - 設定時の注意事項 [16-11](#)
 - 定義済み [16-1](#)
 - 内部 VLAN ID を指定した作成 [16-14](#)
- 拡張ユニバーサル識別情報
 - 「EUI」を参照
- カスタマイズ可能な Web ページ、Web ベース認証 [13-6](#)
- 仮想 IP アドレス
 - クラスタ スタンバイ グループ [6-12](#)
 - コマンド スイッチ [6-12](#)
 - 仮想スイッチと PAgP [40-5](#)
 - 仮想ルータ [46-1, 46-2](#)
 - 簡易ネットワーク管理プロトコル
 - 「SNMP」を参照
 - 環境変数、機能 [4-21](#)
 - 環境変数、組み込みイベント マネージャ [37-4](#)
 - 管理 VLAN
 - REP、設定 [24-9](#)
 - 異なる管理 VLAN での検出 [6-8](#)
 - スイッチ クラスタでの考慮事項 [6-8](#)
 - 管理 VLAN、REP [24-9](#)
 - 管理アクセス
 - 帯域外コンソール ポート接続 [1-6](#)
 - 帯域内
 - CLI セッション [1-6](#)
 - SNMP [1-6](#)
 - デバイス マネージャ [1-6](#)
 - ブラウザ セッション [1-6](#)
 - 管理アドレス TLV [31-2](#)
 - 管理オプション
 - CLI [2-1](#)
 - CNS [5-1](#)
 - 概要 [1-4](#)
 - クラスタリング [1-2](#)
 - 管理の簡易性に関する機能 [1-4](#)
 - 関連付け、温度アラームのリレーへの [3-8](#)

き

- キー発行局
 - 「KDC」を参照
- 起動
 - 手動 [4-19](#)
- 機能、非互換 [29-13](#)
- 逆アドレス解決 [41-8](#)
- 逆アドレス解決プロトコル
 - 「RARP」を参照

許可 VLAN リスト [16-20](#)
 許可ポート、IEEE 802.1x での [12-10](#)
 緊急キュー、QoS の [39-78](#)

<

クエリー、IGMP [28-4](#)
 クエリー送信要求、IGMP [28-13](#)
 組み込みイベント マネージャ
 TCL スクリプトの登録と定義 [37-6](#)
 アクション [37-4](#)
 アプレットの登録と定義 [37-5](#)
 イベント検出器 [37-2](#)
 概要 [37-1](#)
 環境変数 [37-4](#)
 情報の表示 [37-7](#)
 設定 [37-1, 37-5](#)
 ポリシー [37-4](#)
 クライアント プロセス、トラッキング [48-1](#)
 クライアント モード、VTP [17-3](#)
 クラスタ グループおよび HSRP グループのバインド [46-12](#)
 クラスタ、スイッチ
 LRE プロファイルの考慮事項 [6-16](#)
 アクセスする [6-14](#)
 管理する
 CLI を使用して [6-16](#)
 SNMP を介して [6-17](#)
 互換性 [6-4](#)
 自動回復 [6-11](#)
 自動検出 [6-4](#)
 説明 [6-1](#)
 プランニング [6-4](#)
 プランニングの考慮事項
 CLI [6-16](#)
 IP アドレス [6-14](#)
 LRE プロファイル [6-16](#)
 RADIUS [6-15](#)
 SNMP [6-15, 6-17](#)

TACACS+ [6-15](#)
 自動回復 [6-11](#)
 自動検出 [6-4](#)
 パスワード [6-15](#)
 ホスト名 [6-14](#)

利点 [1-2](#)

「候補スイッチ」、「コマンド スイッチ」、「クラスタ スタンバイ グループ」、「メンバ スイッチ」、「スタンバイ コマンド スイッチ」も参照

クラスタ スタンバイ グループ

 HSRP グループ [46-12](#)
 仮想 IP アドレス [6-12](#)
 考慮事項 [6-12](#)
 自動回復 [6-13](#)
 定義済み [6-2](#)
 要件 [6-3](#)
 「HSRP」も参照

クラス マップ、QoS の

 設定する [39-47](#)
 説明 [39-8](#)
 表示する [39-80](#)

クラスレス ドメイン間ルーティング

 「CIDR」を参照

 クラスレス ルーティング [41-7](#)
 クリアする、インターフェイスを [14-27](#)
 クリティカル VLAN [12-23](#)
 クリティカル認証、IEEE 802.1x [12-52](#)
 グローバル コンフィギュレーション モード [2-2](#)
 グローバル ステータス モニタリング アラーム [3-2](#)
 グローバルな脱退、IGMP [28-13](#)

クロック

 「システム クロック」を参照

け

経路集約、OSPF [41-32](#)
 ケーブル、単方向リンクのモニタリング [33-1](#)
 ゲスト VLAN と 802.1x [12-21](#)
 権限レベル

回線に対するデフォルトを変更する **11-10**
 概要 **11-2, 11-9**
 既存の **11-11**
 コマンド スイッチ **6-16**
 コマンドを設定する **11-9**
 メンバスイッチでのマッピング **6-16**
 ロギング **11-11**
 検出、クラスタ
 「自動検出」を参照
 検出する、間接リンク障害を、STP **23-5**

こ

構成設定、保存する **4-16**
 高速コンバージェンス **22-10**
 高速スパニングツリー プロトコル
 「RSTP」を参照
 候補スイッチ
 自動検出 **6-4**
 定義済み **6-3**
 要件 **6-3**
 「コマンドスイッチ」、「クラスタ スタンバイ グループ」、「メンバスイッチ」も参照
 互換性、機能 **29-13**
 コマンド
 no 形式と default 形式 **2-4**
 短縮形 **2-4**
 コマンド、権限レベルを設定する **11-9**
 コマンド スイッチ
 アクセスする **6-12**
 アクティブ (AC) **6-11**
 置き換える
 クラスタ メンバでの **53-5**
 別のスイッチとの **53-6**
 回復
 失われたメンバ接続性からの **53-8**
 コマンド スイッチの障害からの **6-11, 53-4**
 冗長 **6-11**
 スタンバイ (SC) **6-11**

設定の矛盾 **53-8**
 定義済み **6-1**
 パスワード権限レベル **6-16**
 パッシブ (PC) **6-11**
 プライオリティ **6-11**
 要件 **6-3**
 「候補スイッチ」、「クラスタ スタンバイ グループ」、「メンバスイッチ」、「スタンバイ コマンド スイッチ」も参照
 コマンド モード **2-1**
 コマンドライン インターフェイス
 「CLI」を参照
 コミュニティ VLAN **19-2, 19-3**
 コミュニティ ストリング
 SNMP **6-15**
 概要 **36-4**
 クラスタ スイッチの **36-4**
 クラスタでの **6-15**
 設定する **6-15, 36-8**
 コミュニティ ポート **19-2**
 コミュニティ リスト、BGP **41-58**
 壊れたソフトウェア、Xmodem での回復手順 **53-2**
 コンソール ポート、接続する **2-10**
 コンテンツ ルーティング テクノロジー
 「WCCP」を参照
 コンバージェンス
 REP **24-4**
 コンフィギュレーション ファイル
 パスワード回復のディセーブル時の考慮事項 **11-5**
 コンフィギュレーション ロギング **2-5**

さ

サーバ モード、VTP **17-3**
 サービス拒絶攻撃 **29-1**
 サービス クラス
 「CoS」を参照
 サービス プロバイダー ネットワーク
 EtherChannel のレイヤ 2 プロトコル トンネリング **20-9**

IEEE 802.1Q トンネリング [20-1](#)

カスタマー VLAN [20-2](#)

レイヤ 2 プロトコル [20-8](#)

サービス プロバイダー ネットワーク、MSTP および RSTP [22-1](#)

再確認間隔、VMPS、変更する [16-30](#)

再確認する、ダイナミック VLAN メンバーシップを [16-29](#)

最大エージング タイム

MSTP [22-24](#)

STP [21-22](#)

最大数、ポートあたりのデバイスの、ポートベース認証 [12-36](#)

最大ホップ カウント、MSTP [22-25](#)

最適化する、システム リソースを [10-1](#)

サブドメイン、プライベート VLAN [19-1](#)

サブネット ゼロ [41-6](#)

サブネット マスク [41-6](#)

サポートされるポートベース認証方式 [12-7](#)

し

シーケンス番号、ログ メッセージの [35-8](#)

シェイプド ラウンド ロビン

「SRR」を参照

時間帯 [7-5](#)

時間範囲、ACL での [38-17](#)

しきい値、トラフィック レベル [29-2](#)

しきい値のモニタリング、IP SLA [47-6](#)

時刻

「NTP とシステム クロック」を参照

シスコ エクスプレス フォワーディング

「CEF」を参照

システム MTU

IS-IS LSP [41-70](#)

システム MTU および IEEE 802.1Q トンネリング [20-5](#)

システム記述 TLV [31-2](#)

システム機能 TLV [31-2](#)

システム クロック

概要 [7-1](#)

設定する

時間帯 [7-5](#)

手動で [7-4](#)

夏時間 [7-6](#)

日時を表示する [7-5](#)

「NTP」も参照

システム プロンプト、デフォルト設定 [7-7, 7-8](#)

システム名

手動での設定 [7-8](#)

デフォルト設定 [7-8](#)

「DNS」も参照

システム名 TLV [31-1](#)

システム メッセージ ロギング

Syslog 機能 [1-14](#)

UNIX Syslog サーバ

サポートされる機能 [35-14](#)

デーモンを設定する [35-13](#)

ロギング機能を設定する [35-13](#)

イネーブルにする [35-4](#)

エラー メッセージの重大度を定義する [35-9](#)

概要 [35-1](#)

機能キーワード、説明 [35-14](#)

シーケンス番号、イネーブルとディセーブル [35-8](#)

設定を表示する [35-14](#)

タイム スタンプ、イネーブルとディセーブル [35-8](#)

ディセーブルにする [35-4](#)

デフォルト設定 [35-3](#)

表示宛先デバイスを設定する [35-5](#)

メッセージの形式 [35-2](#)

メッセージを制限する [35-10](#)

レベル キーワード、説明 [35-10](#)

ログ メッセージの同期をとる [35-6](#)

システム リソース、最適化する [10-1](#)

システム ルーティング

IS-IS [41-65](#)

ISO IGRP [41-65](#)

実行コンフィギュレーション

置き換える [A-19, A-20](#)

ロール バックする [A-19, A-20](#)

- 実行コンフィギュレーション、保存する **4-16**
 - 自動 QoS
 - 「QoS」を参照
 - 自動 RP、説明 **50-7**
 - 自動イネーブル化 **12-30**
 - 自動回復、クラスタ **6-11**
 - 自動検出
 - 考慮事項
 - CDP 非対応デバイス **6-7**
 - 管理 VLAN **6-8**
 - クラスタ非対応デバイス **6-7**
 - 異なる VLAN **6-7**
 - 最新のスイッチ **6-10**
 - 接続性 **6-4**
 - 非候補デバイスの先 **6-8**
 - ルーテッドポート **6-9**
 - スイッチ クラスタでの **6-4**
 - 「CDP」も参照
 - 自動検知、ポート速度 **1-2**
 - 自動ステート除外 **14-6**
 - 自動設定 **4-4**
 - 自動ネゴシエーション
 - インターフェイス設定時の注意事項 **14-18**
 - デュプレックス モード **1-2**
 - 不一致 **53-8**
 - 自動復旧、クラスタ
 - 「HSRP」も参照
 - 重大度、システム メッセージで定義する **35-9**
 - 柔軟な認証の順序設定
 - 概要 **12-28**
 - 設定する **12-63**
 - 集約アドレス、BGP **41-61**
 - 集約グローバルユニキャストアドレス **42-3**
 - 集約ポート
 - 「EtherChannel」を参照
 - 集約ポリシング **1-12**
 - 集約ポリシング機能 **39-60**
 - 受動インターフェイス
 - OSPF **41-32**
 - 設定 **41-103**
 - 手動によるプリエンブション、REP、設定 **24-14**
 - 準備状態チェック
 - ポートベース認証
 - 設定する **12-36**
 - 説明 **12-16, 12-36**
 - 照合
 - IPv6 ACL **45-3**
 - 冗長性
 - EtherChannel **40-3**
 - HSRP **46-1**
 - STP
 - パス コスト **16-24**
 - バックボーン **21-8**
 - ポート プライオリティ **16-23**
 - 冗長リンクと UplinkFast **23-14**
 - 初期設定
 - Express Setup **1-2**
 - デフォルト **1-15**
 - 自律システム、BGP 内 **41-48**
 - 自律システム境界ルータ
 - 「ASBR」を参照
 - 侵入検知システム
 - 「IDS 装置」を参照
 - 信頼される境界、QoS の **39-39**
 - 信頼状態、ポートの
 - IP 電話のポート セキュリティを確立する **39-39**
 - QoS ドメイン間 **39-41**
 - QoS ドメイン内 **39-37**
 - 分類オプション **39-5**
 - 信頼できるトランスポートプロトコル、EIGRP **41-36**
-
- す**
- スイッチ仮想インターフェイス
 - 「SVI」を参照
 - スイッチ コンソール ポート **1-6**
 - スイッチ ソフトウェア機能 **1-1**
 - スイッチド パケット、ACL **38-39**

- スイッチドポート **14-2**
 - スイッチドポート アナライザ
 - 「SPAN」を参照
 - スイッチのクラスタ化テクノロジー **6-1**
 - 「クラスタ、スイッチ」も参照
 - スイッチプライオリティ
 - MSTP **22-22**
 - STP **21-20**
 - スーパーネット **41-7**
 - スケジューリング、IP SLA 動作 **47-5**
 - スケジュール、リロードの **4-22**
 - スタートアップ コンフィギュレーション
 - 起動のデフォルト設定 **4-18**
 - クリアする **A-19**
 - 設定ファイル
 - 自動的にダウンロードする **4-18**
 - ファイル名を指定する **4-18**
 - ブーティング
 - 手動で **4-19**
 - 特定のイメージ **4-20**
 - スタティック IP ルーティング **1-13**
 - スタティック MAC アドレッシング **1-9**
 - スタティック SSM マッピング **50-19, 50-21**
 - スタティック VLAN メンバシップ **16-2**
 - スタティック アクセス ポート
 - VLAN に割り当てる **16-10**
 - 定義済み **14-3, 16-3**
 - スタティック アドレス
 - 「アドレス」を参照
 - スタティック トラフィック転送 **50-22**
 - スタティック ルーティング **41-3**
 - スタティック ルーティング サポート、拡張オブジェクト
トラッキング **48-10**
 - スタティック ルーティングのプライマリ インターフェイス、
設定 **48-11**
 - スタティック ルート
 - IPv6 で設定する **42-21**
 - 概要 **42-7**
 - 設定 **41-92**
 - スタティック ルートのプライマリ インターフェイス、
設定 **48-11**
 - スタブ エリア、OSPF **41-31**
 - スタブ ルーティング、EIGRP **41-42**
 - スタンバイ グループ、クラスタ
 - 「クラスタ スタンバイ グループ」と「HSRP」も参照
 - スタンバイ コマンド スイッチ
 - 仮想 IP アドレス **6-12**
 - 考慮事項 **6-12**
 - 設定する
 - 定義済み **6-2**
 - プライオリティ **6-11**
 - 要件 **6-3**
 - 「クラスタ スタンバイ グループ」と「HSRP」も参照
 - スタンバイ タイマー、HSRP **46-11**
 - スタンバイ リンク **25-2**
 - スタンバイ ルータ **46-2**
 - スティッキ ラーニング **29-10**
 - ストーム制御
 - サポート **1-3**
 - しきい値 **29-2**
 - 設定する **29-3**
 - 説明 **29-1**
 - ディセーブルにする **29-5**
 - 表示する **29-23**
 - スヌーピング、IGMP **28-2**
 - スパニングツリーとネイティブ VLAN **16-17**
 - スパニングツリー プロトコル
 - 「STP」を参照
 - スプリット ホライズン、RIP **41-24**
 - スモールフレーム着信レート、設定する **29-5**
-
- せ**
- 正規の時刻源、説明 **7-2**
 - 制御プロトコル、IP SLA **47-4**
 - 制限する、アクセスを
 - RADIUS **11-19**
 - TACACS+ **11-11**

- 概要 [11-1](#)
- パスワードと権限レベル [11-2](#)
- 制限付き VLAN
 - IEEE 802.1x で使用する [12-22](#)
 - 設定する [12-50](#)
 - 説明 [12-22](#)
- 整合性検査、VTP バージョン 2 での [17-4](#)
- 正常終了応答、VMPS [16-26](#)
- 生成する、IGMP レポートを [25-4](#)
- セカンダリ VLAN [19-2](#)
- セカンダリ エッジ ポート、REP [24-4](#)
- セキュア HTTP クライアント
 - 設定する [11-56](#)
 - 表示する [11-57](#)
- セキュア HTTP サーバ
 - 設定する [11-55](#)
 - 表示する [11-57](#)
- セキュア MAC アドレス
 - 最大数 [29-10](#)
 - 削除する [29-17](#)
 - タイプ [29-10](#)
- セキュア シェル
 - 「SSH」を参照
- セキュア ポート、設定する [29-9](#)
- セキュア リモート接続 [11-47](#)
- セキュリティ機能 [1-8](#)
- セキュリティ、ポート [29-9](#)
- 設計する、ネットワークを、例 [1-18](#)
- 接続性の問題 [53-10, 53-11, 53-13](#)
- 接続、セキュア リモート [11-47](#)
- 設定、FCS エラー ヒステリシスしきい値の [3-10](#)
- 設定可能な脱退タイマー、IGMP [28-6](#)
- 設定時の注意事項
 - REP [24-7](#)
- 設定時の注意事項、Multi-VRF CE [41-79](#)
- 設定、初期
 - Express Setup [1-2](#)
 - デフォルト [1-15](#)
- 設定する、802.1x ユーザ ディストリビューションを [12-56](#)
- 設定する、スモールフレーム着信レートを [29-5](#)
- 設定する、ポートベース認証の違反モードを [12-38 ~ 12-39](#)
- 設定、セカンダリ温度しきい値の [3-7, 3-8](#)
- 設定、電源装置アラーム オプションの [3-7](#)
- 設定の置換 [A-19](#)
- 設定の変更、ロギング [35-11](#)
- 設定の矛盾、失われたメンバ接続性から回復する [53-8](#)
- 設定のロールバック [A-19, A-20](#)
- 設定ファイル
 - DHCP で取得する [4-9](#)
 - TFTP サーバアクセスを制限する [36-18](#)
 - アーカイブする [A-20](#)
 - アップロードする
 - FTP を使用する [A-15](#)
 - RCP を使用する [A-18](#)
 - TFTP を使用する [A-12](#)
 - 準備する [A-11, A-13, A-16](#)
 - 理由 [A-9](#)
 - コピー時の無効な組み合わせ [A-5](#)
 - 作成時と使用上の注意事項 [A-9](#)
 - システム接点と場所の情報 [36-17](#)
 - 実行コンフィギュレーションを置き換える [A-19, A-20](#)
 - 実行コンフィギュレーションをロールバックする [A-19, A-20](#)
 - スタートアップ コンフィギュレーションを消去する [A-19](#)
 - 説明 [A-8](#)
 - タイプと場所 [A-10](#)
 - ダウンロードする
 - FTP を使用する [A-14](#)
 - RCP を使用する [A-17](#)
 - TFTP を使用する [A-11](#)
 - 自動的に [4-18](#)
 - 準備する [A-11, A-13, A-16](#)
 - 理由 [A-9](#)
 - 置換とロールバックの注意事項 [A-21](#)

テキスト エディタを使用して作成する [A-10](#)

デフォルト名 [4-18](#)

ファイル名を指定する [4-18](#)

保存された設定を削除する [A-19](#)

設定例、ネットワーク [1-18](#)

設定ロガー [35-11](#)

セットアップ プログラム

障害が発生したコマンド スイッチの置換 [53-6](#)

障害が発生したコマンド スイッチを置き換える [53-5](#)

そ

送信元 IP アドレス ベース転送、EtherChannel [40-8](#)

送信元 IP アドレス ベース転送と宛先 IP アドレス ベース転送、EtherChannel [40-8](#)

送信元 MAC アドレス転送、EtherChannel [40-8](#)

送信元 MAC アドレス転送と宛先 MAC アドレス転送、EtherChannel [40-8](#)

送信元アドレス

IPv4 ACL での [38-12](#)

IPv6 ACL [45-5](#)

即時脱退、IGMP [28-5](#)

イネーブルにする [44-9](#)

属性、RADIUS

ベンダー固有 [11-37](#)

ベンダー専用 [11-39](#)

属性と値のペア [12-12, 12-15, 12-20](#)

ソフトウェア イメージ

tar ファイル形式、説明 [A-24](#)

回復手順 [53-2](#)

フラッシュ内での場所 [A-24](#)

リロードのスケジューリング [4-22](#)

「ダウンロードとアップロード」も参照

た

ダイナミック ARP インスペクション

ARP ACL と DHCP スヌーピング エントリのプライオリティ [27-5](#)

ARP キャッシュ ポイズニング [27-1](#)

ARP スプーフィング攻撃 [27-1](#)

ARP パケットのレート制限

errdisable ステート [27-5](#)

設定 [27-11](#)

説明 [27-4](#)

ARP 要求、説明 [27-1](#)

DHCP スヌーピング バインディング データベース [27-2](#)

DoS 攻撃、回避 [27-11](#)

man-in-the middle 攻撃、説明 [27-2](#)

インターフェイス信頼状態 [27-3](#)

機能 [27-2](#)

クリア

統計情報 [27-16](#)

ログ バッファ [27-16](#)

設定

着信 ARP パケットのレート制限 [27-4, 27-11](#)

ログ バッファ [27-13](#)

設定時の注意事項 [27-6](#)

設定する

DHCP 環境での [27-7](#)

非 DHCP 環境の ACL [27-9](#)

説明 [27-1](#)

妥当性チェック、実行 [27-12](#)

デフォルト設定 [27-6](#)

統計情報

クリア [27-16](#)

表示 [27-16](#)

ドロップされたパケットのロギング、説明 [27-5](#)

ネットワーク セキュリティ問題とインターフェイス信頼状態 [27-3](#)

表示

ARP ACL [27-15](#)

信頼状態およびレート制限 [27-15](#)

設定および動作状態 [27-15](#)

統計情報 [27-16](#)

ログ バッファ [27-16](#)

レート制限を超過した場合の errdisable ステート [27-5](#)

ログ バッファ

- クリア [27-16](#)
- 設定 [27-13](#)
- 表示 [27-16](#)

ダイナミック アクセス ポート

- 設定する [16-29](#)
- 定義済み [14-3](#)
- 特性 [16-4](#)

ダイナミック アドレス

「アドレス」を参照

ダイナミック ポート VLAN メンバーシップ

- 再確認する [16-29, 16-30](#)
- 接続のタイプ [16-29](#)
- 説明 [16-27](#)
- トラブルシューティング [16-31](#)

ダイナミック ルーティング [41-3](#)

- ISO CLNS [41-65](#)

タイプ オブ サービス

「ToS」を参照

タイム スタンプ、ログ メッセージの [35-8](#)

タイム ドメイン 反射率計

「TDR」を参照

ダウンロード可能 ACL [12-19, 12-21, 12-60](#)

ダウンロードする

イメージ ファイル

- FTP を使用する [A-30](#)
- HTTP を使用する [A-23](#)
- RCP を使用する [A-34](#)
- TFTP を使用する [A-26](#)
- 準備する [A-25, A-29, A-33](#)
- デバイス マネージャまたは Network Assistant を使用する [A-23](#)
- 古いイメージを削除する [A-27](#)
- 理由 [A-24](#)

設定ファイル

- FTP を使用する [A-14](#)
- RCP を使用する [A-17](#)
- TFTP を使用する [A-11](#)
- 準備する [A-11, A-13, A-16](#)

- 理由 [A-9](#)

タグ付きパケット

- IEEE 802.1Q [20-3](#)
- レイヤ 2 プロトコル [20-8](#)

単一方向リンク検出プロトコル

「UDLD」を参照

短時間でのコンバージェンス [25-3](#)

短縮形、コマンドの [2-4](#)

端末回線、パスワードを設定する [11-6](#)

つ

ツイストペア イーサネット、単方向リンクを検出する [33-1](#)

追跡対象オブジェクト

- しきい値重みによる [48-5](#)
- しきい値パーセントによる [48-6](#)
- ブール式の使用 [48-4](#)

追跡リスト

- 設定 [48-3](#)
- タイプ [48-3](#)

追跡リスト内の重みしきい値 [48-5](#)

追跡リスト内のパーセントしきい値 [48-6](#)

追跡リスト内のブール式 [48-4](#)

て

ディスタンスベクトル プロトコル [41-3](#)

ディスタンス ベクトル マルチキャスト ルーティング プロトコル

「DVMRP」を参照

ディスタンスベクトル マルチキャスト ルーティング プロトコル

「DVMRP」を参照

ディファレンシエーテッド サービス アーキテクチャ、QoS [39-2](#)

ディファレンシエーテッド サービス コード ポイント [39-2](#)

ディレクトリ

作業ディレクトリを表示する [A-4](#)

- 作成と削除 [A-4](#)
- 変更する [A-4](#)
- デバイス検出プロトコル [31-1, 32-1](#)
- デバイス マネージャ
 - スイッチをアップグレードする [A-23](#)
 - 説明 [1-2, 1-4](#)
 - 帯域内管理 [1-6](#)
 - 利点 [1-2](#)
- デバッグする
 - エラー メッセージ出力をリダイレクトする [53-17](#)
 - コマンドを使用する [53-16](#)
 - すべてのシステム診断をイネーブルにする [53-17](#)
 - 特定機能に対してイネーブルにする [53-16](#)
- デフォルト ゲートウェイ [4-16, 41-12](#)
- デフォルト設定
 - 802.1x [12-33](#)
 - BGP [41-45](#)
 - CDP [32-2](#)
 - DHCP [26-9](#)
 - DHCP Option 82 [26-9](#)
 - DHCP スヌーピング [26-9](#)
 - DHCP スヌーピング バインディング データベース [26-9](#)
 - DNS [7-9](#)
 - EIGRP [41-37](#)
 - EtherChannel [40-10](#)
 - Flex Link [25-8](#)
 - HSRP [46-5](#)
 - IEEE 802.1Q トンネリング [20-4](#)
 - IGMP [50-41](#)
 - IGMP スヌーピング [28-7, 44-5, 44-6](#)
 - IGMP フィルタリング [28-26](#)
 - IP SLA [47-6](#)
 - IPv6 [42-11](#)
 - IP アドレス指定、IP ルーティング [41-4](#)
 - IP ソース ガード [26-19](#)
 - IP マルチキャスト ルーティング [50-10](#)
 - IS-IS [41-67](#)
 - LLDP [31-4](#)
 - MAC アドレス テーブル [7-14](#)
 - MAC アドレス テーブル移動更新 [25-8](#)
 - MSDP [51-4](#)
 - MSTP [22-15](#)
 - Multi-VRF CE [41-78](#)
 - MVR [28-20](#)
 - OSPF [41-27](#)
 - PIM [50-10](#)
 - PROFINET [9-4](#)
 - PTP [8-2](#)
 - RADIUS [11-28](#)
 - REP [24-7](#)
 - RIP [41-20](#)
 - RMON [34-3](#)
 - RSPAN [30-9](#)
 - SDM テンプレート [10-3](#)
 - SNMP [36-7](#)
 - SPAN [30-9](#)
 - SSL [11-54](#)
 - STP [21-12](#)
 - TACACS+ [11-14](#)
 - UDLD [33-4](#)
 - VLAN [16-7](#)
 - VLAN、レイヤ 2 イーサネット インターフェイス [16-17](#)
 - VMPS [16-27](#)
 - VTP [17-8](#)
 - WCCP [49-5](#)
 - イーサネット インターフェイス [14-14](#)
 - オプションのスパンニングツリー設定 [23-10](#)
 - 音声 VLAN [18-3](#)
 - 起動 [4-18](#)
 - システム名とプロンプト [7-8](#)
 - システム メッセージ ロギング [35-3](#)
 - 自動 QoS [39-21](#)
 - 初期スイッチ情報 [4-3](#)
 - ダイナミック ARP インスペクション [27-6](#)
 - パスワードと権限レベル [11-3](#)
 - バナー [7-11](#)

- 標準 QoS [39-31](#)
 - フォールバックブリッジング [52-3](#)
 - プライベート VLAN [19-6](#)
 - レイヤ 2 インターフェイス [14-14](#)
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング [20-12](#)
 - デフォルト ネットワーク [41-94](#)
 - デフォルトの Web ベース認証の設定
 - 802.1X [13-9](#)
 - デフォルト ルーティング [41-3](#)
 - デフォルト ルート [41-94](#)
 - デュアル IPv4/IPv6 テンプレート [10-2, 42-6](#)
 - デュアルアクションの検出 [40-5](#)
 - デュアルパーパス アップリンク
 - LED [14-7](#)
 - タイプを設定する [14-15](#)
 - 定義済み [14-7](#)
 - リンクの選択 [14-7, 14-15](#)
 - デュアルプロトコル スタック
 - IPv4 と IPv6 [42-6](#)
 - SDM テンプレートのサポート [42-6](#)
 - 電源管理 TLV [31-2, 31-7](#)
 - 転送情報ベース
 - 「FIB」を参照
 - 転送遅延時間
 - MSTP [22-24](#)
 - STP [21-22](#)
 - 転送保留カウント
 - 「STP」を参照
-
- と**
- 同期化、BGP [41-48](#)
 - 統計情報
 - 802.1x [12-65, 13-17](#)
 - CDP [32-5](#)
 - IP マルチキャスト ルーティング [50-64](#)
 - LLDP [31-10](#)
 - LLDP-MED [31-10](#)
 - NMSP [31-10](#)
 - OSPF [41-35](#)
 - QoS の入力と出力 [39-80](#)
 - RMON グループ イーサネット [34-6](#)
 - RMON グループ履歴 [34-5](#)
 - SNMP 入力と出力 [36-19](#)
 - VTP [17-18](#)
 - インターフェイス [14-27](#)
 - 到達可能性、IP SLA IP ホストのトラッキング [48-9](#)
 - トークンリング VLAN
 - VTP サポート [17-4](#)
 - サポート [16-6](#)
 - 独立 VLAN [19-2, 19-3](#)
 - 独立ポート [19-2](#)
 - 都市ロケーション [31-2](#)
 - 特権 EXEC モード [2-2](#)
 - ドメイン、ISO IGRP ルーティング [41-65](#)
 - ドメイン ネーム システム
 - 「DNS」を参照
 - ドメイン名
 - DNS [7-8](#)
 - VTP [17-9](#)
 - トラストポイント、CA [11-52](#)
 - トラッキング、IP ルーティング ステートの [48-2](#)
 - トラッキング、インターフェイス ラインプロトコル ステートの [48-2](#)
 - トラッキング プロセス [48-1](#)
 - トラック ステート、IP SLA のトラッキング [48-9](#)
 - トラップ
 - MAC アドレス通知を設定する [7-15, 7-17, 7-19](#)
 - 概要 [36-1, 36-4](#)
 - 通知タイプ [36-13](#)
 - 定義済み [36-3](#)
 - マネージャを設定する [36-13](#)
 - 有効化 [7-15, 7-17, 7-19, 36-13](#)
 - トラップ ドア メカニズム [4-2](#)
 - トラフィック
 - 非フラグメント化 [38-5](#)
 - フラグメント化 [38-5](#)
 - フラッドのブロッキング [29-8](#)

分割 IPv6 [45-2](#)
 トラフィックの抑制 [29-2](#)
 トラフィック ポリシング [1-12](#)
 トラブルシューティング
 CiscoWorks での [36-4](#)
 CPU 使用率 [53-21](#)
 debug コマンド [53-16](#)
 PIMv1 および PIMv2 の相互運用性の問題 [50-36](#)
 ping による [53-10](#)
 SFP セキュリティと識別情報 [53-9](#)
 show forward コマンド [53-17](#)
 traceroute での [53-13](#)
 クラッシュ情報を表示する [53-20](#)
 システム メッセージ ロギングでの [35-1](#)
 接続性の問題 [53-10, 53-11, 53-13](#)
 単方向リンクを検出する [33-1](#)
 パケット転送を設定する [53-17](#)
 トランキングのカプセル化 [1-8](#)
 トランク
 DTP をサポートしないデバイス [16-15](#)
 許可 VLAN リスト [16-20](#)
 タグなしトラフィック用ネイティブ VLAN [16-22](#)
 パラレル [16-24](#)
 プルーニング適格リスト [16-21](#)
 ロードシェアリング
 STP パス コストを設定する [16-24](#)
 STP ポートプライオリティを使用する [16-23](#)
 トランク フェールオーバー
 「リンクステート トラッキング」を参照
 トランク ポート
 設定する [16-19](#)
 定義済み [14-3, 16-3](#)
 トランスペアレント モード、VTP [17-3](#)
 トンネリング
 IEEE 802.1Q [20-1](#)
 定義 [20-1](#)
 レイヤ 2 プロトコル [20-8](#)
 トンネル ポート
 IEEE 802.1Q、設定 [20-6](#)

説明 [14-4, 20-1](#)
 定義済み [16-4](#)
 他の機能との非互換性 [20-6](#)

な

内部ネイバー、BGP [41-48](#)
 夏時間 [7-6](#)
 等コスト ルーティング [1-13, 41-92](#)
 名前付き IPv4 ACL [38-15](#)
 並べ替え、ACL エントリ [38-15](#)

に

二重タグ パケット
 IEEE 802.1Q トンネリング [20-2](#)
 レイヤ 2 プロトコル トンネリング [20-11](#)
 認可
 RADIUS での [11-35](#)
 TACACS+ での [11-12, 11-17](#)
 認証
 AAA でのローカル モード [11-46](#)
 EIGRP [41-40](#)
 HSRP [46-11](#)
 OpenIxx [12-29](#)
 RADIUS
 キー [11-29](#)
 ログイン [11-31](#)
 TACACS+
 キー [11-14](#)
 定義済み [11-12](#)
 ログイン [11-15](#)
 「ポートベース認証」を参照
 認証キー、ルーティング プロトコル [41-105](#)
 認証失敗 VLAN
 「制限付き VLAN」を参照
 認証の互換性、Catalyst 6000 スイッチとの [12-8](#)
 認証マネージャ
 CLI コマンド [12-9](#)

以前の 802.1x CLI コマンドとの互換性 [12-9 ~ ??](#)

概要 [12-7](#)

ね

ネイティブ VLAN

IEEE 802.1Q トンネリング [20-4](#)

設定する [16-22](#)

デフォルト [16-22](#)

ネイバー、BGP [41-59](#)

ネイバー オフセット番号、REP [24-4](#)

ネイバー探索、IPv6 [42-4](#)

ネイバー探索および回復、EIGRP [41-36](#)

ネットワーク エッジ アクセス トポロジ

「NEAT」を参照

ネットワーク管理

CDP [32-1](#)

RMON [34-1](#)

SNMP [36-1](#)

ネットワーク タイム プロトコル

「NTP」を参照

ネットワークの設計

サービス [1-19](#)

パフォーマンス [1-19](#)

ネットワークの設定例

ネットワーク サービスを提供する [1-19](#)

ネットワーク パフォーマンスを改善する [1-19](#)

ネットワーク パフォーマンス、IP SLA で測定する [47-3](#)

ネットワーク ポリシー TLV [31-2, 31-7](#)

IP ソース ガード [26-17](#)

アドレス、Cisco IOS DHCP サーバ [26-7](#)

バインディング データベース

DHCP スヌーピング

「DHCP スヌーピング バインディング データベース」を参照

アドレス、DHCP サーバ

「DHCP、Cisco IOS サーバ データベース」を参照

バインディング テーブル、DHCP スヌーピング

「DHCP スヌーピング バインディング データベース」を参照

パケットの変更、QoS での [39-20](#)

パス MTU 検出 [42-4](#)

パス コスト

MSTP [22-21](#)

STP [21-19](#)

パスワード

VTP ドメイン [17-9](#)

暗号化 [11-4](#)

回復 [53-3](#)

回復をディセーブルにする [11-5](#)

概要 [11-1](#)

クラスタでの [6-15](#)

セキュリティ [1-9](#)

設定する

Telnet [11-6](#)

イネーブル [11-3](#)

シークレットをイネーブルにする [11-4](#)

ユーザ名での [11-7](#)

デフォルト設定 [11-3](#)

バックアップ インターフェイス

「Flex Link」を参照

バックアップ スタティック ルーティング、設定 [48-12](#)

バックアップ リンク [25-2](#)

バナー

設定する

Message-of-the-Day ログイン [7-11](#)

ログイン [7-12](#)

デフォルト設定 [7-11](#)

は

バージョン依存のトランスペアレント モード [17-4](#)

バーチャル プライベート ネットワーク

「VPN」を参照

ハードウェアの制限とレイヤ 3 インターフェイス [14-22](#)

バインディング

DHCP スヌーピング データベース [26-7](#)

表示時 **7-10**
 パフォーマンス機能 **1-2**
 パフォーマンス、ネットワークの設計 **1-19**
 パラレルパス、ルーティングテーブル内 **41-92**
 範囲
 インターフェイスの **14-10**
 マクロ **14-12**

ひ

非 IPv6 トラフィック、フィルタリング **45-3**
 非 IP トラフィック フィルタリング **38-28**
 ピア、BGP **41-59**
 非階層型ポリシー マップ
 設定時の注意事項 **39-34**
 説明 **39-10**
 光ファイバ、単一方向リンクの検出 **33-1**
 非対称リンク、IEEE 802.1Q トンネリング **20-4**
 非トランッキングモード **16-16**
 非認識 Type-Length-Value (TLV) サポート **17-4**
 表示、スイッチアラームの **3-13**
 標準範囲 VLAN **16-5**
 設定時の注意事項 **16-6**
 設定する **16-5**
 定義済み **16-1**

ふ

ファイル

crashinfo、説明 **53-20**

tar

イメージファイルの形式 **A-24**

作成する **A-6**

抽出する **A-7**

内容を表示する **A-7**

拡張 crashinfo

説明 **53-20**

場所 **53-20**

基本 crashinfo

説明 **53-20**

場所 **53-20**

コピーする **A-5**

削除 **A-5**

内容を表示する **A-8**

ファイル システム

使用可能なファイル システムを表示する **A-2**

デフォルトを設定する **A-2**

ネットワーク ファイル システム名 **A-5**

ファイル情報を表示する **A-3**

ローカル ファイル システム名 **A-1**

不一致、自動ネゴシエーション **53-8**

フィルタ、IP

「ACL、IP」を参照

フィルタリング

IPv6 トラフィック **45-3, 45-7**

show コマンドと more コマンドの出力 **2-10**

VLAN での **38-31**

非 IP トラフィック **38-28**

フィルタリング、show コマンドと more コマンドの出力の **2-10**

ブーティング

特定のイメージ **4-20**

ブート プロセス **4-2**

ブートローダ、機能 **4-2**

ブートストラップ ルータ (BSR)、説明 **50-7**

ブートローダ

アクセス **4-20**

環境変数 **4-20**

説明 **4-2**

トラップ ドア メカニズム **4-2**

プロンプト **4-20**

フォールバック ブリッジング

STP

hello BPDU インターバル **52-9**

VLAN ブリッジ STP **52-2**

VLAN ブリッジ スパニングツリー プライオリティ **52-6**

インターフェイスでディセーブル **52-10**

- インターフェイス プライオリティ **52-7**
- 最大アイドル時間 **52-10**
- 転送遅延時間 **52-9**
- パス コスト **52-7**
- SVI およびルーテッド ポート **52-1**
- VLAN ブリッジ STP **21-11**
- インターフェイスを接続する **14-8**
- 概要 **52-1**
- サポート **1-13**
- サポートされていないプロトコル **52-4**
- 設定時の注意事項 **52-4**
- 説明 **52-1**
- デフォルト設定 **52-3**
- ブリッジ グループ
 - 機能 **52-2**
 - 削除 **52-5**
 - 作成 **52-4**
 - サポートされる数 **52-5**
 - 説明 **52-2**
 - 表示 **52-11**
- ブリッジ テーブル
 - クリア **52-11**
 - 表示 **52-11**
- フレーム転送
 - パケット転送 **52-2**
 - パケットのフラグディング **52-2**
- プロトコル、未サポート **52-4**
- 保護ポート **52-4**
- 複数認証 **12-13**
- 複数認証モード
 - 設定する **12-42**
- 物理ポート **14-2**
- プライオリティ
 - CoS の上書き **18-6**
 - CoS を信頼する **18-6**
 - HSRP **46-8**
- プライベート VLAN
 - IP アドレス指定 **19-3**
 - SDM テンプレート **19-4**
- SVI **19-5**
- エンドステーション アクセス **19-3**
- コミュニティ VLAN **19-2, 19-3**
- コミュニティ ポート **19-2**
- サブドメイン **19-1**
- セカンダリ VLAN **19-2**
- 設定 **19-10**
- 設定作業 **19-6**
- 設定時の注意事項 **19-6, 19-7, 19-8**
- デフォルト設定 **19-6**
- 独立 VLAN **19-2, 19-3**
- 独立ポート **19-2**
- トラフィック **19-5**
- 複数のスイッチ間 **19-4**
- プライマリ VLAN **19-1, 19-3**
- ポート
 - コミュニティ **19-2**
 - 設定時の注意事項 **19-8**
 - 説明 **16-4**
 - 独立 **19-2**
 - ホスト ポートの設定 **19-11**
 - 無差別 **19-2**
 - 無差別ポートの設定 **19-12**
- マッピング **19-13**
- 無差別ポート **19-2**
- モニタリング **19-15**
- 利点 **19-1**
- プライベート VLAN エッジ ポート
 - 「保護ポート」を参照
- プライマリ VLAN **19-1, 19-3**
- プライマリ エッジ ポート、REP **24-4**
- プライマリ リンク **25-2**
- フラッシュ デバイス、番号 **A-1**
- フラッドトラフィック、ブロッキング **29-8**
- プリエンブション遅延時間、REP **24-5**
- ブリッジ グループ
 - 「フォールバック ブリッジング」を参照
- ブリッジド パケット、ACL **38-40**
- ブリッジ プロトコル データ ユニット

「BPDU」を参照

プルーニング、VTP

イネーブルにする

VTP ドメインで **17-15**

ポート上での **16-21**

概要 **17-5**

ディセーブルにする

VTP ドメインで **17-15**

ポート上での **16-21**

例 **17-6**

プルーニング適格リスト

VLAN **17-16**

VTP プルーニングの **17-6**

変更する **16-21**

プレフィックス リスト、BGP **41-56**

フロー制御

設定する **14-20**

説明 **14-19**

フローチャート

QoS 出力キューイングとスケジューリング **39-18**

QoS 入力キューイングとスケジューリング **39-16**

QoS 分類 **39-7**

QoS ポリシングとマーキング **39-11**

ブロードキャスト ストーム **29-1, 41-14**

ブロードキャストのフラッディング **41-17**

ブロードキャスト パケット

ダイレクト **41-14**

フラッディング **41-14**

フローベース パケット分類 **1-12**

プロキシ ARP

IP ルーティングがディセーブル **41-11**

設定 **41-11**

定義 **41-9**

プロキシ レポート **25-4**

ブロッキング パケット **29-7**

プロトコル依存モジュール、EIGRP **41-36**

プロトコル ストーム プロテクション **29-21**

プロバイダー エッジ デバイス **41-77**

プロファイル外マークダウン **1-12**

へ

ヘルプ、コマンドライン **2-3**

編集機能

イネーブルとディセーブル **2-7**

使用されたキーストローク **2-8**

ラップされた行 **2-9**

ほ

防止する、不正アクセスを **11-1**

ボーダー ゲートウェイ プロトコル

「BGP」を参照

ポート

IEEE 802.1Q トンネル **16-4**

REP **24-6**

VLAN の割り当て **16-10**

アクセス **14-3**

スイッチ **14-2**

スタティック アクセス **16-3, 16-10**

セキュア **29-9**

ダイナミック アクセス **16-4**

デュアルパーパス アップリンク **14-7**

トランク **16-3, 16-15**

ブロッキング **29-7**

保護される **29-6**

ルーテッド **14-4**

ポート ACL

タイプ **38-3**

定義 **38-2**

ポート VLAN ID TLV **31-2**

ポート記述 TLV **31-1**

ポート シャットダウン応答、VMPS **16-26**

ポート ステータス モニタリング アラーム

FCS Bit Error Rate アラーム **3-3**

Link Fault アラーム **3-3**

Port not Forwarding アラーム **3-3**

Port not Operating アラーム **3-3**

ポート セキュリティ

- QoS 信頼境界と [39-39](#)
- イネーブル化 [29-20](#)
- 違反 [29-10](#)
- エージング [29-18](#)
- スティッキ ラーニング [29-10](#)
- 設定 [29-14](#)
- 説明 [29-9](#)
- デフォルト設定 [29-12](#)
- トランク ポートでの [29-15](#)
- 表示 [29-23](#)
- プライベート VLAN の [29-20](#)
- 他の機能との [29-12](#)
- ポートチャネル
 - 「EtherChannel」を参照
- ポートの信頼状態
 - サポート [1-12](#)
- ポート プライオリティ
 - MSTP [22-20](#)
 - STP [21-17](#)
- ポートブロッキング [1-3, 29-7](#)
- ポートベース認証
 - ACL と RADIUS Filter-Id 属性での [12-31](#)
 - EAPOL-Start フレーム [12-5](#)
 - EAP-Request/Identity フレーム [12-5](#)
 - EAP-Response/Identity フレーム [12-5](#)
 - VLAN 割り当て
 - AAA 認証 [12-39](#)
 - 設定タスク [12-17](#)
 - 説明 [12-16](#)
 - 特性 [12-16](#)
 - Wake-on-LAN、説明 [12-25](#)
 - アカウンティング [12-14](#)
 - アクセス不能認証バイパス
 - 設定する [12-52](#)
 - 説明 [12-23](#)
 - 注意事項 [12-35](#)
 - イネーブル化
 - 802.1x 認証 [13-12](#)
 - 音声 VLAN
 - PVID [12-25](#)
 - VVID [12-25](#)
 - 説明 [12-25](#)
 - 音声認識 802.1x セキュリティ
 - 設定する [12-37](#)
 - 説明 [12-29, 12-37](#)
 - 開始およびメッセージ交換 [12-5](#)
 - カプセル化 [12-3](#)
 - クライアント、定義 [12-3, 13-2](#)
 - ゲスト VLAN
 - 設定時の注意事項 [12-22, 12-23](#)
 - 説明 [12-21](#)
 - 柔軟な認証の順序設定
 - 概要 [12-28](#)
 - 設定する [12-63](#)
 - 準備状態チェック
 - 設定する [12-36](#)
 - 説明 [12-16, 12-36](#)
 - スイッチ
 - RADIUS クライアント [12-3](#)
 - プロキシとして [12-3, 13-2](#)
 - スイッチ サプリカント
 - 概要 [12-29](#)
 - 設定する [12-58](#)
 - 設定
 - RADIUS サーバ [12-42, 13-13](#)
 - 違反モード [12-38 ~ 12-39](#)
 - スイッチからクライアントへの再送信時間 [12-45](#)
 - スイッチ上の RADIUS サーバ パラメータ [12-41, 13-12](#)
 - スイッチとクライアント間のフレーム再送信回数 [12-46](#)
 - 待機時間 [12-44](#)
 - 設定時の注意事項 [12-34, 13-9](#)
 - 設定する
 - 802.1x 認証 [12-39](#)
 - アクセス不能認証バイパス [12-52](#)
 - クライアントの手動での再認証 [12-44](#)
 - ゲスト VLAN [12-49](#)

- 制限付き VLAN [12-50](#)
- 定期的な再認証 [12-43](#)
- ホスト モード [12-42](#)
- 説明 [12-1](#)
- ダウンロード可能 ACL とリダイレクト URL
 - 概要 [12-19 ~ 12-21](#)
 - 設定 [12-60 ~ 12-62, ?? ~ 12-62](#)
- デバイスの役割 [12-2, 13-2](#)
- デフォルト値へのリセット [12-65](#)
- デフォルト設定 [12-33, 13-9](#)
- 統計情報の表示 [12-65, 13-17](#)
- 統計情報、表示する [12-65](#)
- 認証サーバ
 - RADIUS サーバ [12-3](#)
 - 定義 [12-3, 13-2](#)
 - 複数認証 [12-13](#)
 - 方式リスト [12-39](#)
- ポート
 - 音声 VLAN [12-25](#)
 - 許可および無許可 [12-10](#)
 - 許可ステートおよび dot1x port-control コマンド [12-10](#)
- ポートあたりのデバイスの最大数 [12-36](#)
- ポート セキュリティ
 - 説明 [12-25](#)
- ホスト モード [12-11](#)
- マジック パケット [12-25](#)
- ユーザ単位 ACL
 - AAA 許可 [12-39](#)
 - 設定タスク [12-18](#)
 - 説明 [12-17](#)
- ユーザ単位の ACL
 - RADIUS サーバ属性 [12-18](#)
- ユーザ ディストリビューション
 - 概要 [12-27](#)
 - 注意事項 [12-27](#)
- ポートベース認証方式、サポートされる [12-7](#)
- ポート メンバーシップ モード、VLAN [16-3](#)
- 保護ポート [1-9, 29-6](#)
- 補助 VLAN
 - 「音声 VLAN」を参照
 - ホスト、ダイナミック ポートでの制限 [16-31](#)
 - ホスト ポート
 - 種類 [19-2](#)
 - 設定 [19-11](#)
 - ホスト名、クラスタでの [6-14](#)
 - ポリシーベース ルーティング
 - 「PBR」を参照
 - ポリシー マップ、QoS の
 - SVI での階層
 - 設定時の注意事項 [39-34](#)
 - 設定する [39-53](#)
 - 説明 [39-12](#)
 - 階層 [39-9](#)
 - 説明 [39-8](#)
 - 特性 [39-49](#)
 - 表示する [39-80](#)
 - 物理ポートでの非階層
 - 設定時の注意事項 [39-34](#)
 - 説明 [39-10](#)
- ポリシング
 - 階層
 - 「階層型ポリシー マップ」を参照
 - 説明 [39-4](#)
 - トークン バケット アルゴリズム [39-10](#)
 - ポリシング機能
 - 数 [39-35](#)
 - 設定する
 - 各一致トラフィック クラスでの [39-49](#)
 - 複数トラフィック クラスでの [39-60](#)
 - 説明 [39-4](#)
 - タイプ [39-10](#)
 - 表示する [39-80](#)
 - ポリシング済み DSCP マップ、QoS での [39-65](#)

 ま

マーキング

集約ポリシング機能でのアクション **39-60**

説明 **39-4, 39-9**

マジック パケット **12-25**

マッピング テーブル、QoS の

設定する

CoS/DSCP **39-63**

DSCP **39-62**

DSCP/CoS **39-66**

DSCP/DSCP 変換 **39-67**

IP precedence/DSCP **39-64**

ポリシング済み DSCP **39-65**

説明 **39-13**

マルチ VRF CE

表示 **41-90**

モニタリング **41-90**

マルチオペレーションのスケジューリング、IP SLA **47-5**

マルチキャスト TV アプリケーション **28-18**

マルチキャスト VLAN **28-18**

マルチキャスト VLAN レジストレーション

「MVR」を参照

マルチキャスト グループ

加入 **28-3**

スタティックな加入 **28-10, 44-8**

即時脱退 **28-6**

脱退 **28-5**

マルチキャスト ストーム **29-1**

マルチキャスト パケット

ACL **38-41**

ブロッキング **29-8**

マルチキャスト ルータ インターフェイス、モニタリング **28-17, 44-12**

マルチキャスト ルータ ポート、追加する **28-9, 44-8**

マルチドメイン認証

「MDA」を参照

み

ミラーリング トラフィック、分析用の **30-1**

む

無許可ポート、IEEE 802.1x での **12-10**

無差別ポート

設定 **19-12**

定義 **19-2**

矛盾、設定 **53-8**

め

メッセージ、ユーザに対するバナーを使用した **7-10**

メトリック、BGP 内 **41-53**

メトリック変換、ルーティング プロトコル間 **41-98**

メトロ タグ **20-2**

メンバーシップ モード、VLAN ポート **16-3**

メンバ スイッチ

失われた接続性から回復する **53-8**

管理する **6-16**

「候補スイッチ」、「クラスタ スタンバイ グループ」、「スタンバイ コマンド スイッチ」も参照

自動検出 **6-4**

定義済み **6-1**

パスワード **6-14**

要件 **6-3**

も

モジュール番号 **14-8**

モニタリング

BGP **41-64**

CDP **32-5**

CEF **41-91**

EIGRP **41-43**

Flex Link **25-15**

HSRP **46-13**

IEEE 802.1Q トンネリング **20-18**

IGMP

スヌーピング **28-16, 44-12**

フィルタ **28-30**

IP

- アドレス テーブル [41-18](#)
- マルチキャストルーティング [50-63](#)
- ルート [41-106](#)
- IP SLA 動作 [47-13](#)
- IPv4 ACL 設定 [38-43](#)
- IPv6 [42-28](#)
- IPv6 ACL 設定 [45-8](#)
- IS-IS [41-75](#)
- ISO CLNS [41-75](#)
- MAC アドレス テーブル移動更新 [25-15](#)
- MSDP ピア [51-18](#)
- MVR [28-24](#)
- OSPF [41-35](#)
- PROFINET [9-5](#)
- PTP [8-4](#)
- REP [24-15](#)
- RP マッピング情報 [50-36](#)
- SFP ステータス [14-27, 53-10](#)
- Source-Active メッセージ [51-18](#)
- SSM マッピング [50-23](#)
- VLAN [16-15](#)
 - フィルタ [38-43](#)
 - マップ [38-43](#)
- VMPS [16-31](#)
- VTP [17-18](#)
- アクセス グループ [38-43](#)
- アラーム [3-13](#)
- インターフェイス [14-26](#)
- オブジェクト トラッキング [48-13](#)
- 機能 [1-14](#)
- スイッチ間でのトラフィック フロー [34-1](#)
- 速度モードとデブレックス モード [14-19](#)
- 単方向リンク用のケーブル [33-1](#)
- トラフィックの抑制 [29-22](#)
- トンネリング [20-18](#)
- フォールバック ブリッジング [52-11](#)
- プライベート VLAN [19-15](#)

プローブでの分析用のネットワーク トラフィック [30-2](#)

ポート

- ブロッキング [29-23](#)
- 保護 [29-23](#)
- マルチ VRF CE [41-90](#)
- マルチキャスト ルータ インターフェイス [28-17, 44-12](#)
- レイヤ 2 プロトコル トンネリング [20-18](#)

ゆ

- ユーザ EXEC モード [2-2](#)
- ユーザ単位 ACL と Filter-Id [12-8](#)
- ユーザ データグラム プロトコル
 - 「UDP」を参照
- ユーザ名ベース認証 [11-7](#)
- 優先処理、トラフィックの
 - 「QoS」を参照
- 優先遅延、デフォルト設定 [25-8](#)
- 優先、デフォルト設定 [25-8](#)
- 誘導ユニキャスト要求 [1-5](#)
- ユニキャスト MAC アドレス フィルタリング [1-5](#)
 - CPU パケットと [7-21](#)
 - スタティック アドレスを追加する [7-22](#)
 - 設定時の注意事項 [7-21](#)
 - 説明 [7-21](#)
 - ブロードキャスト MAC アドレスと [7-21](#)
 - マルチキャスト アドレスと [7-21](#)
 - ルータ MAC アドレスと [7-21](#)
- ユニキャスト ストーム [29-1](#)
- ユニキャスト トラフィック、ブロッキング [29-8](#)

よ

- 予約アドレス、DHCP プールでの [26-30](#)

ら

ライン コンフィギュレーション モード [2-3](#)

り

リークする、IGMP レポートを [25-4](#)

リセット、BGP 内 [41-51](#)

リダイレクト URL [12-19](#), [12-20](#), [12-60](#)

リトライ回数、VMPS、変更する [16-30](#)

リモート SPAN

「RSPAN」を参照

リモート コピー プロトコル

「RCP」を参照

リモート ネットワーク モニタリング

「RMON」を参照

履歴

コマンドを呼び出す [2-6](#)

説明 [2-6](#)

ディセーブルにする [2-7](#)

バッファ サイズを変更する [2-6](#)

履歴テーブル、Syslog メッセージのレベルと番号 [35-10](#)

リロードする、ソフトウェアを [4-22](#)

リンク完全性、REP を使用した確認 [24-3](#)

リンク障害、単一方向の検出 [22-8](#)

リンク冗長性

「Flex Link」を参照

リンクステート トラッキング

設定する [40-24](#)

説明 [40-22](#)

リンクステート プロトコル [41-3](#)

リンク、単方向 [33-1](#)

リンク ローカル ユニキャスト アドレス [42-3](#)

隣接テーブル、CEF [41-91](#)

タイプ [38-4](#)

定義 [38-2](#)

ルータ ID、OSPF [41-34](#)

ルーティング

情報の再配信 [41-95](#)

スタティック [41-3](#)

ダイナミック [41-3](#)

デフォルト [41-3](#)

ルーティングできないプロトコルの転送 [52-1](#)

ルーティング ドメイン連合、BGP [41-62](#)

ルーティング プロトコルのアドミニストレーティブ ディスタンス [41-93](#)

ルーテッド パケット、ACL [38-41](#)

ルーテッド ポート

IP アドレス [14-22](#), [41-4](#)

スイッチ クラスタでの [6-9](#)

設定 [41-3](#)

定義済み [14-4](#)

ルート ガード

イネーブルにする [23-16](#)

サポート [1-7](#)

説明 [23-8](#)

ルート計算タイマー、OSPF [41-32](#)

ルート スイッチ

MSTP [22-18](#)

STP [21-15](#)

ルート選択、BGP [41-52](#)

ルート ターゲット、VPN [41-78](#)

ルート ダンプニング、BGP [41-63](#)

ルート マップ

BGP [41-54](#)

ポリシーベース ルーティング [41-99](#)

ルート リフレクタ、BGP [41-62](#)

ループ ガード

イネーブルにする [23-16](#)

サポート [1-7](#)

説明 [23-9](#)

る

ルータ ACL

れ

例

ネットワーク設定 [1-18](#)

レイヤ 2 traceroute

1 ポートに複数のデバイス [53-13](#)

ARP [53-12](#)

CDP [53-12](#)

IP アドレスおよびサブネット [53-12](#)

MAC アドレスおよび VLAN [53-12](#)

使用上の注意事項 [53-12](#)

説明 [53-12](#)

ブロードキャスト トラフィック [53-12](#)

マルチキャスト トラフィック [53-12](#)

ユニキャスト トラフィック [53-12](#)

レイヤ 2 インターフェイス、デフォルト設定 [14-14](#)レイヤ 2 フレーム、CoS での分類 [39-2](#)

レイヤ 2 プロトコル トンネリング

EtherChannel の設定 [20-15](#)

設定 [20-11](#)

注意事項 [20-12](#)

定義 [20-8](#)

デフォルト設定 [20-12](#)

レイヤ 2 プロトコル パケットのシャットダウンしきい値 [20-12](#)レイヤ 2 プロトコル パケットのドロップしきい値 [20-12](#)

レイヤ 3 インターフェイス

IPv4 アドレスと IPv6 アドレスを割り当てる [42-15](#)

IPv6 アドレスを割り当てる [42-12](#)

IP アドレスの割り当て [41-6](#)

タイプ [41-3](#)

レイヤ 2 モードからの変更 [41-6, 41-83](#)

レイヤ 3 機能 [1-13](#)レイヤ 3 パケット、分類方式 [39-2](#)

レポート抑制、IGMP

説明 [28-6](#)

ディセーブルにする [28-16, 44-11](#)

ろ

ローカル SPAN [30-2](#)

ロード バランシング [46-4](#)

ロギング メッセージ、ACL [38-8](#)

ログイン認証

RADIUS での [11-31](#)

TACACS+ での [11-15](#)

ログイン バナー [7-10](#)

ログ メッセージ

「システム メッセージ ロギング」を参照

ロケーション TLV [31-2, 31-7](#)

わ

ワイヤード ロケーション サービス

概要 [31-3](#)

設定する [31-9](#)

表示する [31-10](#)

ロケーション TLV [31-2](#)

割り当て、アラーム プロファイルのポートへの [3-12](#)